

国立国語研究所学術情報リポジトリ

The Educational Film Series for the Japanese Language : Basic Level : Teacher's Manual Unit 4

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003126

16mmフィルム／ビデオテープ

日本語教育映画 基礎編
教師用マニュアル

ユニット **4** (第16巻～第20巻)

国立国語研究所

前 書 き

この「日本語教育映画基礎編 教師用マニュアル」は、「日本語教育映画基礎編」を効果的に利用するための教授者用手引書として作成しました。

「日本語教育映画基礎編」は、日本語を母語としない学習者が日本語を学ぶための初級用映像教材で、1巻5分から8分の作品30巻で構成されています。各巻、独立した学習内容と主題を持っているので、日本語の授業で教科書と併用する副教材として個別的に利用することもできますが、また基礎的日本語能力を実践的に身につけるための教材として、系列的に順次利用することも可能です。

このマニュアルは、映画各巻の学習内容と主題について簡潔に解説し、ユニット（映画5巻分）単位でまとめました。日本語教育映画を効果的に利用するための一助になれば幸いです。

昭和59年11月

国立国語研究所長

野 元 菊 雄

日本語教育映画 基礎編 学習項目表

	題名及び副題	主要学習項目	その他の学習項目
1	これは かえるです —「こそあど」+「～は～です」—	1. 「こそあど」の用法 2. ～は～です	1. ～をください
2	さいふは どこにありますか —「こそあど」+「～がある」—	1. 「こそあど」の復習 2. ～があります 3. 「は」と「が」の違いの導入	1. ～は？ 2. ～です 3. います
3	やずくないです、たかいです —形容詞—	1. 形容詞の意味・用法	1. よ、ね 2. 青い色の
4	きりんは どこにいますか —「いる」「ある」—	1. います、あります 2. だれか/だれも、何か/何も	1. 慣用表現 よろしくお願ひします etc.
5	なにを しましたか —動詞—	1. 基本的な動詞の意味・用法 2. ～ます/ました 3. 対象語(目的語)、時、場所の言い方	1. ～時、～時間
6	しずかな こうえんで —形容動詞—	1. 形容動詞の意味・用法	1. 慣用表現 もっといかがですか etc. 2. ね
7	さあ、かぞえましょう —助数詞—	1. 助数詞	
8	どちらが すきですか —比較・程度の表現—	1. 比較・程度の表現 2. ～は～がじょうず/へたです ～は～がすき/きらいです 3. ～は～ができます 4. ～は～が～	1. ～は～がほしい/～たい (cf 18) 2. どちら/どれ/どんな/どの 3. こちら/こっち
9	かまくらを あるきます —移動の表現—	1. 移動に関わる動詞 2. ～ませんか } (cf 13) ～ましょう }	
10	もみじが とても きれいでした —です、でした、でしょう—	1. ～です/でした/でしょう 2. ～だ/だった(待遇表現) 3. ～に行く/来る (cf 14)	1. ～のです(cf 12) 2. ごろ、ぐらい 3. ～月、～日、期間 4. 時の表現
11	きょうは あめが ふっています —して、している、していた—	1. 「～て」形の導入 2. ～ている、～ていた	1. 数・量の言い方 5分、三人etc. 2. 二人称の○○さん 3. ～とも、～でも 4. 前後関係 まず、それからetc.
12	そうじは してありますか —してある、しておく、 してしまう—	1. ～である 2. ～ておく (cf 21) 3. ～てしまう	1. ～のです 2. 会話の始動・展開・終結の語 3. あいさつなどの慣用表現 いつてらっしゃい etc.
13	おみまいに いきませんか —依頼・勧誘の表現—	1. ～をください ～て ～てください ～てくださいませんか ～ませんか } (cf 9) ～ましょう } ～ないでください	1. ～でもいい 2. ～てはいけない 3. ～なくてはいけない ～なければいけない 4. ～てみる (cf 17) 5. 「で」の用法 6. ～なんです 7. 数・量の言い方 8. 発話の起こし(文の接続)
14	なみのおとが きこえてきます —「いく」「くる」—	1. 行く/来る 2. ～ていく/くる	1. 動詞による連体修飾
15	うつくしいさらに になりました —「なる」「する」—	1. 「なる」「する」の意味・用法	

	題名及び副題	主要学習項目	その他の学習項目
16	みずうみのえを かいたことが ありますか —経験・予定の表現—	1. することがある 2. したことがある 3. することに 4. ことになる	1. ～たり、～たりする
17	あのいわまで およげますか —可能の表現—	1. 可能動詞 することができる 2. 可能動詞＋よくなる	1. ～やすい/にくい/すぎる 2. ～といい 3. ～ながら 4. ～てみる (cf 13)
18	よみせを みに いきたいです —意志・希望の表現—	1. するつもりだ ～(よ)うと思っている 2. ～たい/たがる ほしい/ほしがる 3. する/している/したところだ 4. したばかりだ	1. 材料「で」(～できている)
19	てんきが いいから さんぽをしましょう —原因・理由の表現—	1. ～から、～ましょう/～ません か/～てください 2. ～ので、～ 3. ～て、～(理由) 4. ～らしい ～ようだ	1. 名詞句化の「の」 2. 存在・非存在の「ある」「ない」 時間がある etc. 3. ～てから～ 4. ずいぶん、せっかく、 すっかり etc.
20	さくらが きれいだそうです —伝聞・様態の表現—	1. ～そうだ (伝聞) 2. ～そうだ (様態) 3. ～ようだ (推定) ～らしい (推定)	1. かしら 2. たしかに、どうやら、 とにかく etc.
21	おけいこを みに いっても いいですか —許可・禁止の表現—	1. ～でもいい/ かまわない 2. ～なくてもいい 3. ～てはいけない 4. ～なければいけ ない/ならない 5. ～なくてはいけない 6. ～したほうがいい 7. ～するようにしてください	1. ～する前に、～してから 2. ～ておく (cf 12)
22	あそこに のぼれば うみがみえます —条件の表現1—	1. ～と、～ 2. ～ば、～ 3. ～たら、～ 4. ～なら、～	
23	いえが たくさんあるのに とでもしずかです —条件の表現2—	1. ～ても、～ 2. ～のに、～ 3. ～けれども、～ 4. ～にもかかわらず、～	1. ～まま
24	おかねを とられました —受身の表現1—	1. 受身の表現(他動詞を中心に)	1. ～と、～した 2. ～(よ)うとする
25	あめに ふられて こまりました —受身の表現2—	1. 受身の表現(自動詞を中心に)	1. ～し、～し、～ 2. ～たびに
26	このきっぷを あげます —やり・もらいの表現1—	1. やる/もらう/くれる	慣用的表現
27	にもつを もって もらいました —やり・もらいの表現2—	1. ～てやる/もらう/くれる	慣用的表現
28	てつだいを させました —使役の表現—	1. 使役の表現 (～てもらう) 2. 使役受身の表現	慣用的表現
29	よく いらっしゃいました —待遇表現1—	1. 敬語	慣用的表現
30	せんせいを おたずねします —待遇表現2—	1. 敬語	慣用的表現

目次

日本語教育映画基礎編 教師用マニュアル

ユニット4

前書き	1
学習項目表	2
この本の構成と使い方	5
第16巻 みずうみのえを かいしたことがありますか — 経験・予定の表現 —	
目的・構成	7
学習項目	8
「～したことがある／ない」「～することがある／ない」	
「～することにする／～しないことにする」	
「～することになる／～しないことになる」「～たり～たりする」	
使用にあたって	10
シナリオに沿って	11
第17巻 あのいわまで およげますか — 可能の表現 —	
目的・構成	27
学習項目	28
可能の表現 「(動詞)ようになる」「～やすい」「～にくい」「～すぎる」	
「～といい」「～してみる」「～ながら」	
使用にあたって	33
シナリオに沿って	35
第18巻 よみせを みに いきたいです — 意志・希望の表現 —	
目的・構成	47
学習項目	48
「～たい／～たがる」「ほしい／ほしがる」「～つもりだ、～(よ)う」	
「(する／している／した)ところだ」「(した)ばかりだ」「で／から」	
「～と思う、～と言う」	
使用にあたって	52
シナリオに沿って	53
第19巻 てんきが いいから さんぽを しましょう — 原因・理由の表現 —	
目的・構成	65
学習項目	66
「～から～」「～ので～」「～て、～」「～らしい」「～ようだ」	
「の」(名詞化)「ある」「ない」 複文の問題	
使用にあたって	71
シナリオに沿って	72
第20巻 さくらが きれいだそうです — 伝聞・様態の表現 —	
目的・構成	85
学習項目	86
「～そうだ(伝聞)」「～そうだ(様態、推量)」「～らしい(推定)」	
「～ようだ(推定・不確かな断定)」「～かしら」「どうやら」「～はずだ」	
使用にあたって	90
シナリオに沿って	91
映画およびこの本の作成関係者	102

この本の構成と使い方

映像教材には、中心学習項目のほかに、さまざまな内容がふくまれています。授業に使用するにあたっては、制作者が意図してとり入れた要素もまたそうでない要素も、できる限り細かい検討を行ってから利用計画を立てるのが望ましいことです。事前に知っておくべき内容を教授者が確認し、自分のものにするために、このマニュアルでは、どのような種類の情報が教材のどの部分に出現するか、そしてその情報をどう理解し指導に役立てたらよいか、ということを中心に編集してあります。

以下、このマニュアルの構成を追って、編集方針と使い方を述べていきます。

目的・構成——映画の全体像、内容の把握

各巻の最初のページに、その巻の主要学習項目、ストーリーの流れ、学習項目の出現のようすを表にして示しました。各巻のこのページだけに目を通していくことによって、映画全体の内容把握、また授業計画の作成の参考になります。なお、表の「カウント」と記した空欄は、テープカウンターの数値を書き入れるためのものです。

学習項目——文法・文型の整理

この映画は、各巻ごとに表現文型を中心にまとめてあります。主要学習項目で、その巻で取り上げた文法・文型の基本的な意味・用法を、日本語教育の観点から解説しました。その巻を授業で扱うにあたって、文法知識の再確認のために利用できます。

シナリオに沿って——「語彙」「文法」など項目別に配列

ページの上部にシナリオを提示して、その内容に関する情報や解説を同じページ内に示しました。なるべく他の分冊や他のページを参照することなくそのページだけで必要な情報が得られるように配慮しました。そのため、同じような解説が重複して現れることをあえて許容しています。

全体を「語彙・表現」「文法」「留意点」「生活・文化」の四つの項目にわけてその順に配列し、個々の事項をさがし出しやすくしました。また、ひとつの項目、たとえば「文法」だけをページを追って通読することにより、短時間でその項目についての全体像をつかむということもできます。

以下、四つの項目について述べます。

■語彙・表現

教授者として知っておくべき語句の意味用法と、学習者に与える説明というふたつの観点から、語彙を取り上げました。おもにシナリオに現れた用例について簡

単な語釈を与え、また類似語・関連語のあいだでの意味・用法の異同についても扱っています。対語は「↔」を、その他の関連語は「→」を付して示しました。さらに、映像には出現するが、せりふには現れない語を「映像⇒」という印をつけてまとめました。慣用表現などについても取り上げました。

■文法

せりふとして出現したそれぞれの文は、場面や文脈など多くの要素との関連で形式や意味内容が成り立っています。ここでは「学習項目」で述べた文法知識を前提とし、シナリオの文脈を参照しながら、主要学習項目やその他の文法的な事項がどう運用されているか、解説してあります。

■留意点

「文と文、発話と発話のつながり」といった、談話レベルでシナリオをとらえ、その規則や注意すべき点を解説しました。また日本的なコミュニケーションのしかたに関する注意など、文法だけに着目しては見すごしがちなものも取り上げ、さらに談話関係に限らず授業にあたって注意しておいたほうがよいことがあれば言及しました。

■生活・文化

日本文化や日本事情に関する知識は、日本で生活したり日本人と接するとき役立つものと考えられます。また、練習の題材として、あるいは学習動機を高めるための素材として教室内で取り上げる必要もあります。ここでは生活・文化についてなるべく具体的に説明を加えました。

使用にあたって

以上のほか、巻によってはこの欄を設け、「効果的な使い方」、「練習帳について」の各内容を取り上げています。このうち「練習帳について」は、このマニュアルとは別に刊行している「日本語教育映画 基礎編 練習帳」を授業や自習で使うにあたっての注意点と使い方を述べたものです。また、「トピック」という標題で、おもに生活・文化情報などについて補足説明をした巻もあります。海外の教室などで、特に日本事情の具体的なデータが不足するようなときに利用できると思います。

——— 注 意 ———

このマニュアルは、映画にふくまれる各種情報についての客観資料を提供することを主目的としています。このマニュアルが指導上の教案に代わるものではありませんので、解説した内容のすべてを直接学習者に与えようをすると不適当な場合が生じます。個々の指導目標や学習段階に即して重要度を吟味したうえで、利用できる情報を取り上げるようにしてください。

第 **16** 卷

みずうみのえを

かいたことが ありますか

— 経験・予定の表現 —

目的・構成

1 目的

形式名詞「こと」を含む表現で、経験、予定を表す言い方の学習を目的とする。ほかに、「～たり、～たりする」も学習する。

2 構成

二人の画学生（淳子、正子）の夏休みの行動を中心に展開する。帰省した正子からの手紙を受け取った淳子が正子の家に泊まりに行き、二人は散歩したり、絵をかいたりして過ごす。

	文	場面	ストーリー	学習項目	コメント
I	①	淳子の部屋	淳子、手紙を受け取る		
II	⑦ ②①	正子の手紙 部屋、神社、 川、バス停、 湖畔	散歩、絵をかきに行く。 来訪の確認と出迎えの約束。	手紙文 ～することもある ～することにする ～たり～たりする	
III	②② ③③	正子の家の茶 の間、湖畔	淳子来訪についての母と正子の会 話。正子、日課の絵をかく。	～することになる	
IV	③④ ③⑦	正子の家の 台所	天ぶらの下ごしらえをする母と正 子。	～することにした	
V	③⑧	駅(ホームと駅舎)	淳子の到着。正子の出迎え。		
VI	④③ ⑥⑤	正子の家の座 敷、城(回想)	淳子を歓待する正子と母。	～したことがある ～することにする	
VII	⑥⑥ ⑦⑦	城への散歩 道	城へと散歩する正子、淳子。	～たり～たりする ～したことがある	
VIII	⑦①	正子の部屋	正子の絵を見ながら明日の相談。	～することにする	
IX	⑧④	バス停留所	湖に絵をかきに出かける二人。	～することがある	
X	⑧⑦ ⑨⑦	湖畔	お弁当を食べる二人。 絵をかく二人。	～することにする	
XI	⑨①	湖畔の帰り道	夕映えをめでながら帰りを急ぐ。	～することがある	

学 習 項 目

1 主要学習項目

① 「～したことがある／ない」

過去の経験の有無を言う表現。動詞や、一部の助動詞(受身、使役など)の過去形に「ことがある」が接続する。その事実の起きた回数は一回以上何度でもよいが、その頻度を明らかにするため「何度も」「～度」「一度も」「～度しか」、または、頻度の副詞がともに用いられることが多い。またその過去を限定する「時」の言い方、「子供のころ」「～年前に」などとも結びつきやすい。映画中の表現には、次のようなものがある。

- ④⑨ こんなおいしいすいかは食べたことはありません。
- ⑤① 淳子さんは、前に、この町へ来たことがありますか。
- ⑤③ 一度来たことがあります。
- ⑤⑦ お城へ行ったことがあるんですか。
- ⑥⑧ お城の絵をかいたことがありますか。
- ⑦⑤ 淳子さんはこの湖へ行ったことがありますか。
- ⑦⑧ 湖の絵をかいたことがありますか。

なお、「～ことがある」は、状態を表す動詞、形容詞、形容動詞、名詞文の過去形につき、過去に起こった事実の有無を表す。

冬に桜が咲いたことがある。

この町が一度だけ静かだったことがある。

② 「～することがある／ない」

ある動作・事実が常にではないが起ること、またはその可能性があるということを表す。頻度の副詞(ときどき、たまに、めったに、など)とともに指導すると、意味がつかみやすい。また「ことがある」の「が」の代わりに「も」を用いると、起る可能性がよりすくないことを表す。動詞(助動詞を伴う場合もある)の現在形だけでなく、形容詞・形容動詞(「～な」の形で)にも接続するが、初級ではふつう扱わない。次の四つがこの映画に出てくる。

- ⑩② ときどき、遠くの川まで行くことがあります。
- ⑩⑦ ラジオの音楽を聞くこともあります。
- ⑩⑥ ええ、ときどき遅れることがあるんです。
- ⑩⑨ 夕暮れには、湖が赤く見えることがあるんですよ。

「～ことがありますか」に対する答えは、「はい、あります。」「いいえ、ありません。」でも十分である。

③ 「～することにする／～しないことにする」

予定や意志決定を表す言い方。行為を表す動詞の現在形に接続する場合のみを初級では導入する。「～することになっている」となると、すでにそう決めて、そのつもりでいるという内容を表す。中級以上では次の表現も導入されるだろう。

旅行したことにしておく。「～したことにする」
雨が降ることにしましょう。「(状態動詞)+ことにする」 } 仮定・偽り

映画中には次の用例がある。

- ⑮ 毎日、三時間は絵をかくことにしました。
- ⑲ 駅まで迎えに行くことにします。
- ⑳ 何かごちそうを作ることにしましょう。
- ㉓ 今日、てんぶらを作ることにしましたよ。
- ⑥④ そうだ、お城まで散歩することにしましょうよ。
- ⑧⑩ わたしも、湖の絵をかくことにします。
- ⑧① じゃあ、あしたから、毎朝8時7分のバスで行くことにしましょう。
- ⑧③ そして、夕方までいることにしましょうよ。
- ⑧⑨ わたしは、民家のスケッチをすることにします。

④ 「～することになる／～しないことになる」

「～ことにする」が自分の立場から、予定や意志の決定をするのに対し、ほかからの作用ですでに予定され、決定されている状況を客観的にとらえて、位置づける表現である。したがって結果を表すことが多い。映画中には次の用例がある。

- ②③ 12時52分の列車で着くことになっています。

2 その他の学習項目

「～たり～たりする」

列挙の言い方である。この形式によって列挙される行為は、同類と思われる観点によって支えられているもので、多くの行為の中からめぼしい物が選ばれる。名詞の場合の「～や～や」などに相当する表現である。「～たり」の部分は、動詞、形容詞、形容動詞、助動詞の「～た」形である。映画に次の表現が出ている。

- ①⑥ ごはんのあとは、絵をかいたり、本を読んだりします。
- ⑥⑥ 毎日、散歩をしたり、絵をかいたりしているんですか。
- ⑦② 近くのお寺のスケッチをしたり、川をスケッチしたり、湖をかいたりしています。

なお、並列というより、重ね合わさったひとつの行為を表す場合、または「AかBかどちらか」という意味を表す場合もある。

- 行ったり来たりする。○ 日によって暑かったり、涼しかったりする。

使用にあたって

1 効果的な使い方

映像は文字によるテキストよりも具体性、現実性に富む。学習者は、教科書より、映画に現実味を感じるであろう。しかし、映画は日本語教育映画として、筋書上の虚構性をも合わせ持っている。教授者は、まず、それらの虚構性を見きわめ把握しておかなければならない。(例：親子、親友間での「です・ます」体の過多使用。若い娘の普段着としてのゆかた、など)

次に、言語理解による情報と、映像による直接情報とを区別、整理しておくことが大事である。地理的、社会的習慣の異なる学生は必ずしも画面から、教師の期待する情報を受け取っているとは限らない。この巻のせりふ中には、「夏」「夏休み」「休暇」「大学」「学生」などの語は一度も出てこない。「暑い」「8月」はある)したがって、ことばが全部聴きとれたとしても、季節なり、帰省の意味なりが十分理解できないこともあるだろう。実際この二人が大学生であると判断すべき証拠はせりふでは何もない。また逆に、「音声」が聞きとれなくても、映像が理解の助けになる場合もかなりある。教授者は、学習者の必要に応じて、日本語の知識とともに、映像面に関する知識をも補っていくことが望まれる。通常言語的環境の一部をなすような行動(うなずく、おじぎなど)を習得するのに、映像教材は適している。画面中の、社会習慣的行動をとり出し、指導することも、映像教育の主要な部分である。

2 練習帳について

1～2ページは、映画のストーリーを思い出し、主要学習項目を確認する。絵は7ページの⑩、⑪などで再び使うようになっている。

3～4ページは、変換練習による文型の確認練習だから、教室で用いる場合は、単語をふやし、問題の最初の文は音声だけを与えるなど、変化をつけてもよい。5ページも変換練習だが、時の副詞が入り、多少機械的でなくなる。

6ページから8ページまでは、みな自分で考える問題である。問題文の中に、主要学習項目の表現が表れてくることに注意。⑦、⑧、⑫は、音声で問題を与えることもできる。

シナリオに沿って

I	淳子の母	①	淳子。	淳子の部屋
		②	はい。	
		③	正子さんから手紙ですよ。	
	淳子	④	どうもありがとう。	
	淳子の母	⑤	これから、ちょっと買い物に行ってきます。	
	淳子	⑥	はい。	

■ 語彙・表現

はい：音調を変化させることで、いろいろな意味で相手の注意をひくために用いられる。②と⑥を比較。②は注意をひくとき、「うん」「ええ」などと置換不可能。→「ほら」。⑥は認知を示す。「ええ」「うん」とも言える。

これから：今から。行為を現時点からすぐ始めるときの表現。

映像 ⇒ 封書 封を切る

■ 文法

③正子さんから手紙ですよ。

「よ」は、判断、命令、誘いなどを相手に提示したり、念押ししたりする。

「手紙です」の、「～です」は、眼前の事物に、相手の注意を向けようとするときの表現。「～から手紙です」の場合「～からの手紙です」と違い、「です」が他の動詞の代替の働きをしている。この場合「来た」。「これは手紙です」の文型ではないことに注意。→「課長にお客様です」「玄関へお客様です」。

■ 留意点

人の呼び方について。「淳子」と個人名を呼びすてにしているので声の主は、淳子の年長の近親者であることがわかる。「個人名+さん」の呼び方でも人間関係が示せる。幼なじみは「個人名+ちゃん(君)」。学令期以後は、「姓+さん」が一般的であり、親が娘の学友を「個人名+さん」で呼ぶことは珍しい。幼なじみでない親戚関係の成人に対し、「個人名+さん」を使用することが多い。これは、近所などで、一家を知っている親しい成人にも用いられることがある(姓では区別できないから)。

■ 生活・文化

ここでは、和封筒(長封筒)と呼ばれる伝統的一般的な封筒が用いられている。

業務用は、ほとんどこの形式が使われる。カード類(結婚・誕生・出産の祝いなど)は、洋封筒と呼ばれる角封筒が用いられる。最近、若い人々は、角封筒を用いることが多いようだ。

II	正子（手紙） ナレーション ⑦ 淳子さん、お元気ですか。 ⑧ 東京は、毎日、暑いでしょうね。 ⑨ こちらは、たいへん涼しいです。 ⑩ いなかへ帰ってきて、もう1週間もたちました。 ⑪ わたしは、毎朝早く起きて、うちの近くにある神社のあたりを散歩します。 ⑫ ときどき、遠くの川まで行くこともあります。
----	--

■ 語彙・表現

いなか：都会の対語。または故郷を意味する。正子の故郷の町をさす。

たつ：時間を表す語について、時間が過ぎたことを表す。

うち：建物を表すのではなく、自分の属する輪の内側という感じ。→うちの子

あたり：近い所、まわりを漠然と示す。近辺、付近、まわり。

映像 ⇒ 便箋 (文)字 縦書き ゆかた 神社

■ 文法

⑧東京は暑いでしょうね。

「～でしょう」は推量。「ね」は表現内容に対して相手に同意を求める。

⑩帰って来て、もう一週間たちました。

「～て」は動作（作用）から次の動作への時間的推移を表す。後件が時間経過の表現の場合「～てから」「～以来」の意になる。

⑪わたしは毎朝早く起きて、うちの近くにある神社のあたりを散歩します。

動詞文による連体修飾である。→「神社はうちの近くにある。」第14巻参照。

⑫ときどき、遠くの川まで行くこともあります。

「(ときどき)～こともあります」。常にではないが「行く」という動作を行う。

「も」によって、起きる頻度がより少ないことを表している。

■ 留意点

⑩の「もう」+「時間」の言い方は「まだ～しか」と対比させて、理解させる。

⑪では「わたしは毎朝早く起きる」「神社のあたりを散歩する」「神社は家の近くにある」の三つの文を結合して、一つの文にする練習が可能。

■ 生活・文化

神社：日本古来からの神をまつてある所で、古く集落の発生とともに存在した。

今なお、村ごとに、町ごとにある（1977年の調査で、全国に約8万）。多くは広い境内をもち、大木が茂り、清浄な雰囲気である。

II	正子（手紙つづき）	⑬	午前中は、絵の勉強をしています。
	ナレーション	⑭	8時7分のバスで、湖へ絵をかきに行きます。
		⑮	毎日、3時間は、絵をかくことにしました。

■ 語彙・表現

かく：字、文、手紙、論文などを書く。絵、漫画・線画などを描く。小説を書く。

勉強：学問、知識、技能などに対していう。絵をかくことを専門にしている学生であることがわかる。

毎～：時の表現（朝・夕・晩・夜・週・～曜日）また、時の助数詞（秒・分・時・日）などにつき「たびごとに」の意。

映像 ⇒ キャンバス 油絵の具 パレット イーゼル

■ 文法

⑬午前中は、絵の勉強をしています。

「～中」時間的な幅を示す語に接尾辞としてついて、その時間内で事柄が継続するという意になる。「午後中」はない。「午前」は夜12時から（または夜明けから）正午まで。

⑮毎日、3時間は、絵を書くことにしました。

「は」は数量を表す語につく場合、最低限度を示す。非常に多くて、驚くに価するときは「も」になる。

「～ことにしました」は、意志決定をあらわす。過去形になっているのは、帰省してあとに、本人が絵をかくという日課の予定を決定したのが手紙を書いている時点よりも過去であることを表す。

「～ことにしている」と言えば、予定してそのつもりでいること、継続実行中であれば、習慣を表すことになる。

■ 留意点

「～ことにしている」「～ことにする」「～ことにした」と時制の変化による使われる場面の相違をはっきり理解させる必要がある。

⑭の「8時7分のバス」はバスの本数の少なさを意味し、交通の便の悪い田舎を印象づける。

■ 生活・文化

ゆかた：夏の夕べの風呂あがりのくつろぎ着。最近、20代ぐらいまでの若い人にとっては、夏の催し（花火・盆踊り・祭り）などの際の軽いおしゃれ着になっている。くつろぎ着としての実用性は、55才以上にわずかに残っている。

II	正子（手紙つづき） ナレーション	⑩ お昼ごはんのあとは、絵をかいたり、本を読んだりします。 ⑪ ラジオの音楽を聞くこともあります。 ⑫ 淳子さんがこちらへ来る日は、来月の9日でしたね。 ⑬ 駅まで迎えに行くことにします。 ⑭ では、また。 ⑮ 正子
----	---------------------	---

■ 語彙・表現

お昼ごはん：「お」は丁寧な感じを与える接頭語。「朝ごはん」「晩ごはん」に「お」はつかない。→(朝食、昼食、夕食。)「ごはん」は米をたいたものを意味するほかに、「食事」の意味を表す。

では、また：手紙の末文。「では また。お元気で」など。

映像 ⇒ お弁当 包み しまう 座卓 正座

■ 文法

⑩お昼ごはんのあとは、絵をかいたり、本を読んだりします。

「～たり～たりする」は、列挙の表現。一日の行動の中からめぼしいものをあげているが、「ほかにもいろいろあるが」の意を含む。同類のものが列挙され、この場合、午後に行く行為としての共通観点がある。

⑪ラジオの音楽を聞くこともあります。

いつもではないが、この行為をする。「も」は頻度の少なさを表す。⑩⑪の文を「～たり～たりする」で接続する練習も可。

⑫淳子さんがこちらへ来る日は、来月の9日でしたね。

「～日は」の「日」には、何らかの限定が必要である。「その日は～」。この場合、文による連体修飾によって「日」が限定されている。「でした」は予定の確認である。だいたい以前に来訪の予定を決めてあったことがわかる。あらためて注意を喚起したのである。「～たね」は記憶の確認の表現と言ってよい。

⑬駅まで迎えに行くことにします。

「～ことにする」は意志決定を表す表現。

■ 留意点

手紙の形式について簡単に指導することが可能。

前文（書き出し・時候のあいさつ・安否）、本文、末文（終わりのあいさつ）
 あとづけ（日付・自分の氏名・相手の氏名）。

III	正子の母 ㉒ 今日は、淳子さんが来る日ですね。
	正子 ㉓ ええ、12時52分の列車で着くことになっています。
	正子の母 ㉔ 何かごちそうを作ることにしましょう。
	㉕ 何にしましょうか。

■ 語彙・表現

列車：1両または複数の車両を連結してできる鉄道輸送上の運行単位。旅客列車、貨物列車。汽車は元来、蒸気機関で動く列車であるが、長距離列車のことを汽車という人もいる。→電車

ごちそう：ふつうより、手間やお金をかけて豪華にした料理。

映像 ⇒ 茶ぶだい 急須 茶わん 茶たく

■ 文法

㉒今日は、淳子さんが来る日ですね。

⑬の「～でしたね」と比較。カレンダーを見て、ふと思いだして確かめた感じがある。

㉓ええ、12時52分の列車で着くことになっています。

すでに決まっていることの結果が、「～ている」を用いることで、まだ継続していることを表す。列車について、わざわざ時刻を言うのは、田舎では列車の数が少ないからである。

㉔何かごちそうを作ることにしましょう。

「作ることにする」と予定を決め、さらに「～ましょう」で、自分の意志と正子への誘いかけを表している。「何か」の「か」は「だれか」「どこか」「どれか」のように疑問詞につき、次にくることばが一応内容を示すが、それが明確でないときの表現。

㉕何にしましょうか。

「～ことにする」の「～こと」の部分が名詞になった言い方。決定を表す。上昇イントネーションで相手の意向をきく表現。

■ 留意点

日めくりが8月9日を示している。母は、日めくりを見上げた目を正子に移して会話が始まっている。㉓と㉔で「～ことになる」と「～ことにする」のちがいを十分理解させる。㉓の場合、主語にも、注目させよう。

■ 生活・文化

茶の間：食事をしたり日常くつろいだりする部屋。二人は、くつろいで、朝食後のお茶を飲みながら、しゃべっている。食事は椅子・テーブルでして、お茶の間でくつろぐという傾向もある。

III	正子	②⑥	そうですね……。
		②⑦	うーん、何がいいかしら。
		②⑧	お母さんにまかせますわ。
		②⑨	あっ、もうバスの時間だわ。
		③⑩	じゃあ、行って来ます。
	正子の母	③①	いってらっしゃい。
		③②	気をつけて。
	正子	③③	ええ。

■ 語彙・表現

そうですね…：考えが決まらないときの応待の仕方。「そう」は元来、相手の意見や、相手側の状況を前提として発せられる指示語だが、このような場合、その意識は特にない。

お母さん：母に対する呼びかけ。また、姑への呼びかけとしても用いられる。

まかせる：相手に一任する。相手の思いどおりにしてよい。頼んですっかりしてもらおう。

映像 ⇒ 頬づえ 仏壇 掛時計 火鉢

■ 文法

②⑦うーん、何がいいかしら。

「うーん」は語調に注意。考えこむときの音声。「～かしら」は自問。または軽い疑いの表現。女性語。（第20巻参照）

②⑨あっ、もうバスの時間だわ。

終助詞「わ」は女性が用いる。文末について、柔らかさを表す。②⑧は丁寧体について、母に言っているのだが、②⑨は「だ」体につけて、自分自身に言っている感じが表現される。

「もうバスの時間だ」は、今、気がついたら、バスに乗らなければならない時間が近づいている、の意。「バス」は8時7分の湖へ行くバスのこと。

③⑩じゃ、行って来ます。

「では」の話しことば。②⑨の文が前提になって、話を打ち切る気分。

■ 生活・文化

出がけのあいさつ：③⑩③①は、最も一般的で、日常欠かせないものである。③①は⑥のように「はい」とおきかえ、すぐ③②をつづけてもよい。③②は、娘があわてているのを気使い、加えたのであろう。日常出がけのあいさつに必ずつけ加えられるとは限らない。

III	(川原で絵をかいている正子)			
IV	正子	③④	ただいま。	台所
	正子の母	③⑤	お帰りなさい。	
		③⑥	今日は、てんぷらを作ることにしましたよ。	
	正子	③⑦	わたしも、手伝います。	
V	正子	③⑧	あっ。	駅の改札口
		③⑨	こんにちは。	
	淳子	④⑩	こんにちは。	
	正子	④⑪	あっ、それ。	
	淳子	④⑫	ありがとう。	

■ 語彙・表現

てんぷら：野菜・魚介類に卵と水でといた小麦粉のころもをつけて、油であげた和風料理。

映像 ⇒ 台所 冷蔵庫 包丁 まな板 電気がま 駅員 改札口 ホーム 旅行カバン

■ 文法

③⑥今日は、てんぷらを作ることにしましたよ。

すでに決めて、もう料理の準備をはじめているから、「ました」となる。

④⑪あっ、それ。

「それ」は、相手の持っている荷物をさす。「それを持ってあげましょう」のつもり。言外の動作とともに文意を完成する。親しい間柄の会話である。

■ 留意点

III、IVは、話の筋と、時間的關係がこみいっている。12時57分の列車の話をしてきた直後8時であわてて出ていくので、手紙の中に一度だけ出てきた8時7分のバスということ覚えていない人にとっては、何だろうという気がする。学生にその点の確認が必要。

③④, ③⑤は、帰宅のあいさつの基本的なもの。

駅舎、ホームは、全体映像がなく、列車らしき一部が見えるだけなので、実物を知らない人にはわかりにくいかもしれない。

■ 生活・文化

台所：この映画では台所が暗く感じられるが、日本建築の場合、居間、応接間を南向き、台所、風呂場、便所は北向きにする傾向がある。

二人が最初出会った時のやりとり（あいさつ）は短い。ふだんは、ほぼ毎日顔を合わせ、かなり親密な関係であるということが推察できる。

VI	正子の母	④③	暑かったでしょう。
		④④	さあ、どうぞ。
	淳子	④⑤	いただきます
		④⑥	まあ、おいしい。
	正子	④⑦	おいしいでしょう。
	淳子	④⑧	ええ。
		④⑨	こんなおいしいすいかは、食べたことはありません。
	正子の母	④⑩	そうですか。(笑いながら)

■語彙・表現

さあ、どうぞ：すすめ、誘うときのことば。(めしあがってください、おいでください、お入りください、など)

いただきます：食べる前のあいさつ。↔(ごちそうさま)

映像 ⇒ 風鈴 おしぼり 床間 書院窓 掛軸 うちわ すいか

■文法

④③暑かったでしょう。

上昇イントネーションで、自分の推測を相手に確かめる気持ち。この場合はあいさつ的一种として、日盛りに訪問したことへのねぎらいの気持ち。→「寒かったでしょう」「たいへんだったでしょう」

④⑦おいしいでしょう。

「～でしょう」は、おいしいはずだから気に入ってもらえたにちがいないという確信があって、相手に確認している。イントネーションに注意。

④⑨こんなおいしいすいかは、食べたことはありません。

過去に経験がないことを表している。おいしさについての素直な表現。

■留意点

三人の座り方に注意させる。座り方で人々の関係と心情を理解し、態度、動作の情報のとらえ方を学ばせる。淳子はかしこまって座ぶとんに、母は正座、正子は足をくずしている。

■生活・文化

母がうちわで淳子に風を送っている。この行為で、客にすこしでも居心地よく、滞在してもらいたいという気持ちを表す。奥ゆかしい行為である。

VI	正子の母	㉔	淳子さんは、前に、この町へ来たことがありますか。
	淳子	㉕	ええ。
		㉖	一度、来たことがあります。
	正子の母	㉗	いつですか。
	淳子	㉘	4年ほど前、お城を見物に来ました。
	正子の母	㉙	ああ、そうですか。
		㉚	お城へ行ったことがあるんですか。
	淳子	㉛	ええ。

■ 語彙・表現

前に：過去の時を表す。「以前に」の意味。

お城：「お城」というだけで、この町にあるあの城だとわかることに注意。

映像 ⇒ 障子 たたみ

■ 文法

㉔淳子さんは、前に、この町に来たことがありますか。

㉖一度、来たことがあります。

㉔は過去の経験の有無を質問し、㉖はそれに答えている。「前に」は㉘では、「に」がついていない。「に」は時間幅の中の一点を示す。「～ごろ、とき、うち、あと、夜、午後、春、正月」などは「に」につけてもつけなくてもよい。「に」があると、時の限定がより明確になる。なお「に」の有無で意味が異なるものもある。例 本日中・午前中・3年間・～あいだ

「～したことがある」の表現には、「一度、～年前」や「いつか」など、時の表現を伴うことが多いので、このような言葉とともに練習するとよい。

㉚お城へ行ったことがあるんですか。

㉚は、㉙を具体的に言いかえたもので、「～んですか」は、相手の過去の経験を納得・了承した言い方。

■ 留意点

「来る」と「行く」の使いわけに注意。㉘と㉚を比べて、話し手の位置を確認すること。回想部分の色は消してある。たぶん4年前は、まだ淳子と正子は友達ではなかったのだろう。

■ 生活・文化

城は、敵の攻撃を防いで戦うための居住も兼ねた建築物で、中世以降、城を中心に、城下町ができた。この城は千葉県夷隅郡の大多喜城である。ただ元々の大多喜城ではなく、その城跡に大多喜城を模して造られたもので、正式名は県立総南博物館、昭和50年に開館した。

VI	正子の母	⑤9	おや、3時ですね。
		⑥0	じゃあ、お楽に。
	正子	⑥1	疲れていませんか。
	淳子	⑥2	いいえ。
	正子	⑥3	じゃあ、散歩に行きませんか。
	⑥4	そうだ、お城まで散歩することにしましょうよ。	
	⑥5	ええ。	

■ 語彙・表現

おや、3時ですね：「おや」は驚きや何かに気づいたときの表現。ここでは、時計の音で時間に気づいた独り言的な言い方。

お楽に：客をくつろがせるための言い方。「どうぞお楽に。」客を残してひっこむときは、「じゃ、お楽に」。

そうだ：自分に言っている。何か思いついたときに、感投詞のように用いる。この場合「そうです」は不可。②9参照。

■ 文法

⑥1疲れていませんか。

否定の形で質問する場合は、そうであろうが、そうだと好ましくないと懸念する気持ちがこめられる。この場合は「疲れているでしょうね」。否定の疑問文ではないので答えは「いいえ」である。

⑥3じゃあ、散歩に行きませんか。

この場合の「～ませんか」は、勧誘や依頼を表す。「行きましょう」と同様の気持ちを婉曲に表す。相手に選択をまかせるニュアンスがある。

⑥4そうだ、お城まで散歩することにしましょうよ。

「～ことにする」は意志決定の表現。さらに「～ましょうよ」で相手に誘いかけた表現になる。「ことにしましょうよ」は自分だけが計画決定するのではなく、「相手とともに」という気持ちが含まれる。

■ 生活・文化

日本式の部屋の説明と、客の座る位置などにふれる。縁側、庭なども。

VII	淳子 ⑥⑥	毎日、散歩をしたり、絵をかいたりしているんですか。
	正子 ⑥⑦	ええ、とても楽しいわ。
	淳子 ⑥⑧	このお城の絵をかいたことがありますか。
	正子 ⑥⑨	ええ。
		⑦⑩

■語彙・表現

この間：今日より少し前のある時、こないだ、先日。

スケッチ：1. 写生画。ふつう鉛筆やカーボンですが、色鉛筆そのほかを使うこともある。2. 簡単な絵。下絵。彫刻、商工業デザイン、作曲などについても使う。「～する」で動詞になる。

映像 ⇒ 石垣 屋根瓦 壁 松

■文法

⑥⑥毎日、散歩をしたり、絵をかいたりしてるんですか。

列挙の表現。毎日の行動の中から主なものを選んで、そのほかにもすることはあるが、という気持ちを表している。

⑥⑧この城の絵をかいたことがありますか。

過去に経験があるかどうか尋ねる表現。「ええ」で答えている。

⑦⑩このあいだスケッチをしました。

⑦⑩の文は「このあいだ」で「時」を限定したため「～ことがある」は使えない。

■留意点

⑥⑧⑥⑨⑦⑩のような応答を場面をかえて練習させるとよい。時のことばも、いろいろかえる。→きのう、1週間前に、先週、など。

■生活・文化

城周辺にいろいろな木があるが、城の手前に白壁を背に、1本の松の木が見える。松は、常に色を変えないときわ木として永続を示し、めでたいものとされる。

ミンミン蟬は、真夏の日盛りの象徴である。声を聞くだけで陽ざしを感じる。この声はたとやんだのは、城の場面からの転換を示す。

VIII 1	淳子 ⑦①	ほかに、どんな絵をかきました。	
	正子 ⑦②	近くのお寺のスケッチをしたり、川をスケッチしたり、湖をかいたりしています。	
	淳子 ⑦③	これですね。	
	正子 ⑦④	ええ。	
		⑦⑤	淳子さんは、この湖へ行ったことがありますか。
	淳子 ⑦⑥	いいえ、ありません。	

■ 語彙・表現

ほかに：城の絵以外に、の意味。

(お)寺：仏教の僧が住み、仏像をまつり、修業生活をおくり、仏事を行う所。「お寺」に対しては「お宮」。「神社」は「お」がつかない。

映像 ⇒ スケッチブック

■ 文法

⑦②近くのお寺のスケッチをしたり、川をスケッチしたり、湖をかいたりしています。

列挙の表現。何をかくかという共通の観点に立って、列挙している。

⑦⑤淳子さんは、この湖へ行ったことがありますか。

スケッチブックを指しながら「こ」の指示語を使っている。「～したことがありますか」は、経験の有無を問う。

⑦⑥いいえ、ありません。

「～ことがありますか」に対する否定の答えの典型である。

■ 留意点

正子の服装が違っている。夕方、家に帰ってから、風呂にでも入ったのかもしれない。ここでゆかたでも着せれば、情景によく合ったかもしれない。うなづく動作は承知、理解、同感などを示す。首をたてにふることに注意。

■ 生活・文化

寺も神社も、独特の建築様式をもっている。寺も神社同様、多くは、境内が広く、清浄で、ひとけが少ないこともあり、絵をかきに行く場所としてよい。

VIII 2	正子 ⑦⑦	午前中と夕方がとてもきれいですよ。
		⑦⑧ 湖の絵をかいたことがありますか。
	淳子 ⑦⑨	いいえ。
		⑧⑩ わたしも、湖の絵をかくことにします。
	正子 ⑧①	じゃあ、あしたから毎朝、8時7分のバスで行くことにしましょう。
	淳子 ⑧②	ええ。
	⑧③	そして、夕方までいることにしましょうよ。

■ 語彙・表現

午前中：この場合、日の出から正午の時間。

じゃあ：前の会話を受けて、「それなら、どうする、どうだ、どうなる」と言うときにつかう。

から：起点を表す。⑧③の「まで」(到達点)と共に提示する。

■ 文法

⑦⑧湖の絵をかいたことがありますか。

経験の有無を聞く表現。答えは⑦⑨の「いいえ」。

⑧⑩わたしも、湖の絵をかくことにします。

意志決定の表現。

⑧①じゃあ、あしたから毎朝8時7分のバスで行くことにしましょうよ。

⑧③そして、夕方までいることにしましょうよ。

⑧④と同じように、自分で計画を立て、相手を誘う表現。「～ことにしましょうよ」

■ 留意点

「～ことにする」の出現回数が多いため、くどく、不自然な感じがするが、前ページと続けて十分練習し、「～したことがありますか」「いいえ。～ことにします」「じゃあ、～ことにしましょうよ」の形で置きかえ練習をするとよいだろう。

IX	淳子 ⑧4 なかなか、バスが来ませんね。 ⑧5 もう、8時20分ですよ。 ⑧6 ええ、時々、遅れることがあるんです。	バス停 で
X	(バスが来る) (湖畔で風景をかく二人) 正子 ⑧7 午後は、どうしましょうか。 淳子 ⑧8 そうですね……。 ⑧9 わたしは、民家のスケッチをすることにします。 正子 ⑨0 じゃあ、わたしは油絵の続きをかきます。	

■ 語彙・表現

なかなか：「～ない」を伴って、容易に実現しない様子を言う。

どうしましょうか：意向を尋ねる表現→「たいへん、どうしましょう」

民家：公共建造物や商店ではなく、ふつうの人が住む一戸建ての家。ここでは旧式の日本家屋をそう呼んでいる。木で柱を、草で屋根を、土で壁を作った昔ながらの家。

映像 ⇒ 停留所 時刻表 横断歩道 弁当 箸

■ 文法

⑧6時々、遅れることがあるんです。

「～することがある」は、いつもではないが起こる可能性があることを示す表現。

「時々」のように頻度を表す語とともに用いられる。「～んです」は正子が淳子に説明している表現。

⑧9わたしは、民家のスケッチをすることにします。

「～ことにする」は意志決定・予定の表現。⑧7⑧8から発展して今日の午後の行動をそれぞれ決めている。

■ 留意点

時刻表には、時刻、行先(勝浦)が記されている。せいぜい1時間に1本程度しか来ない田舎のバスである。なお、勝浦は千葉県内の地名。

■ 生活・文化

おにぎり、おむすび：昔から、携帯用食糧として利用された。米飯を熱いうちに、ぬらして塩をつけた手で、俵型や三角形ににぎった素朴なものだが、外側に海苔をまいたり、ごまなどをまぶしたり、中に梅干、さけなどを入れたりする。現在も、遠足や行事の弁当の主流をなし、店頭でも販売されている。

XI	正子	⑨①	もう、終わりにしませんか。
	淳子	⑨②	ええ。
	正子	⑨③	夕暮れには、湖が赤く見えることがあるんですよ。
	淳子	⑨④	きれいでしょね。
		⑨⑤	まあ、きれい。
	正子	⑨⑥	あー、ほんと。
		⑨⑦	きれいですね。
	正子	⑨⑧	さあ、行きましょう。
		⑨⑨	バスに遅れます。
	淳子	⑩⑩	ええ。

■ 語彙・表現

終わりにする：行為を終えることを決定する意。→食事にする
 夕暮れ：日が沈み、あたりが薄暗くなりかけるころ。→夕方

■ 文法

⑨①もう、終わりにしませんか。

動詞の場合は、「～することにする」と「こと」を伴うが、この例は名詞をうける形。意志決定の表現。「～ませんか」は勧誘の言い方。

⑨③夕暮れには、湖が赤く見えることがあります。

「～ことがあります」は、いつもではないが、起こる可能性があることを表す表現。⑫⑰⑱参照。

⑨⑤まあ、きれい。 ⑨⑥ あー、ほんと。

「まあ」「あー」は感動詞。「きれい」「ほんと」は形容動詞の語幹だけを用いた表現。話しことばでは一般的である。感嘆を表す。イントネーションに注意。「きれいですね」「ほんとですね」は感嘆の度合いが低い。

■ 留意点

「～に遅れる」は、わたしたちが停留所に行くのがおそくなって、乗りおくれる意。⑩⑥の「遅れる」はバスが遅れるのである。

■ 生活・文化

せみの声：ヒグラシの「カナカナカナ……」の声は、夕方の象徴である。ヒグラシの鳴き声は、「ミンミン」とちがって、日が暮れる心細さと、帰宅を急ぐ心とを思い出させる。

第 **17** 卷

あのいわまで およげますか

— 可能の表現 —

目的・構成

1 目的

この映画は、可能を示す表現のいろいろを提示し、その意味・用法の言語場面に即した理解を主な目的としている。

2 構成

映画の舞台は、ある海水浴場。主な登場人物は、和夫と真理子兄妹と、二人のところへ遊びに来た友人の夏子と、その弟、明。この四人を中心に話は展開する。

	文 場 面	ス ト ー リ ー	学 習 項 目	カウ ント
I	① 駅	和夫・真理子、夏子と明を迎える。 簡単な友達どうしのあいさつ。		
II	② ⑳ 浜辺 (1)	夏子はあまり泳げない。真理子の 提案で、和夫が教えることになる。	およげる、およげない、 いける、およぐことができ る、～といい	
III	㉑ ㉓ 海の中	和夫、夏子に泳ぎを教える。	やってみる、～といい、 息がしにくい/やすい、 ～しながら、およげるよ うになる	
IV	㉗ ㉙ レストラン	四人で昼食。かにを食べる。夏子 の泳ぎをめぐるって会話がはずむ。	たべられない、とれる、 たべにくい、たべやすい いってみる、おおすぎる たべすぎ	
V	㉚ ㉜ 浜辺 (2)	釣り人がある岩まで泳ごと、明、 真理子に提案。	来られない、行ってみる 遠すぎる	
VI	㉝ ㉟ つき出た磯	岩陰から素足の先が見え、驚く。 その声で起きた釣り人と話す。	つれる、つれている ～しながら	
VII	㉠ ㉡ 浜辺 (3)	夏子と和夫、明と真理子を心配し て待っている。明と真理子、戻る。	つれている	

示す。(能力可能)

③ あそこの岩ぐらいまでは泳げます。

④⑩ こんなにたくさん食べられません。

○あの人にはスポーツなら何でもできる。

(b) 動作、作用の対象が、あることを可能にする性質を持っている、あるいは、その場の状況から、あることの実現が許されることを示す。(状況可能)

この切符は三日間有効だから、まだ使える。

この部屋は鍵がかかかっていて入れない。

雪の日が多くて、練習があまりできなかった。

この映画に出ている可能表現では、「泳げる」「行ける」「とれる」の全てと、④⑩⑮の「食べられる」「来られる」、および次項で述べる「泳ぐことができる」⑮⑳が、(a)の意味を持ち、(b)の意味で使われているのは、④⑩⑮の「食べられる」である。

その他、意志や情意を表す動詞、自然の状態を表す動詞「泣く、思う、とる、釣る」などは可能動詞になると、その場の状況から自然発生的にそうなるという自発的な意味がこめられる。

○ 彼が盗んだとしか思えない。

○ 今年はみかんがよくとれた。

この映画の中での「釣れる」⑳㉑㉒㉓㉔はこの用法に近い。

また、「られる」については、可能を表すほかに、自発、受身、尊敬を表す場合もあるが、これは文脈によって判断される。

(2) 「～ことができる」

この形も可能表現としてよく使われるもので、「～」の部分には多くの動詞が基本形(連体形)で入る。入らないのは「ある」「要る」「わかる」など可能動詞がない動詞である。この映画では、この形は「泳ぐことができます」⑮⑳の二か所に出ている。「泳ぐことができる」は「泳げる」と同義である。したがって、「行ける」は「行くことができる」、「とれる」は「とることができる」、「食べられる」は「食べるができる」、「来られる」は「来ることができる」と対応する。しかし、「～ことができる」には自然発生的に起こる状態を表す用法がないことから、この映画の文脈で自発的意味あいの強い「釣れる」は「釣ることができる」と言い換えることはできない。

こうしたこと以外には、可能動詞と「～ことができる」の形とは、意味、用法にほとんど違いはないが、後者の方がやや強調的な感じがする。

ほかに留意点としては、「中国語は話すこともできる」と言った場合、これは中国語は読むこと、書くことができ、さらに話すこともできるの意味を持つ。こ

の意味は「話せる」では表せないが、「話せもする」という形なら表せる。

(3) 「見える」「聞こえる」(第9巻、14巻参照)

どちらも自発性の意味を持った自動詞。この映画では「見える」㉔が1回出てくる。「見える」も「聞こえる」も、1.当人の意志にかかわらず「山が見える」「波の音が聞こえる」のように、自然に何かが目映ったり、耳に入ったりする意と、2.「目が見える」「耳が聞こえる」のように、見る能力、聞く能力がある意とがある。この場合は可能の意を含むが、これは主体の能力の問題で、客観的な条件を伴った可能を示しているのではない。

「見える」「聞こえる」と「見られる」「聞ける」との関係を考えて、

(a) 「あかりが見える。家があるようだ」

「あっ、うぐいすの音が聞こえた。ちょっと静かにして。」

の場合は、自然に目に入る、耳に入る状態なので、可能「見られる」「聞ける」に置きかえることはできない。

(b) 「天気がよければ富士山が見える」

の場合は、客観的条件設定が伴うので「見られる」に置きかえることも可。

(c) 「今日は早く帰れるのでテレビが見られる」

「ラジオがあればニュースが聞ける」

の場合は、条件設定を伴っているが、対象が自然に目に、耳に入ってくるような設定ではないので「見える」「聞こえる」に置きかえることはできない。

(4) その他の可能表現

(a) 「～得る」(うる／える)

「わかり得る」「あり得る」など「～」の部分には動詞「～ます」形の「～」の部分(連用形)が入る。可能動詞にならない動詞もこの形で可能を表すことができる。ややあらたまった文章語的表現で、強調の意味をこめて使われるが、日常会話ではあまり用いられない。「うる」と発音されることもあるが、「える」の方が一般的であろう。この形は「十分起こり得る」などのように、当然のこととしてある事態を予測する場合も使われる。

(b) 「(使う)わけにはきれない」

「(使い)切れない」

「(使い)ようがない」

これらは不可能の言い方だけである。また、

「(買う)余裕がある／ない」

「(買う)だけの力がある／ない」

などの言い方も可能である。

② 「～ ようになる」

動詞の表す状態に到達したことを表す表現である。この映画では、「泳げるようになりました」③⑤⑥と、可能動詞の形で三回出てくる。このように、「～」の部分には、可能動詞や可能の意味を持つ動詞「できる」「わかる」「見える」「聞こえる」などが入り、可能な状態に到達したことを表すことも多い。しかし、「～ようになる」それ自体には可能の意味はない。

高校生になって、急に熱心に勉強するようになった。

彼は結婚してからは家へ早く帰るようになった。

「～ようになる」と似た形で、「～ようにする」という言い方もあるが、「～」が可能動詞の場合、そのような能力を得させるの意。「～」が意志動詞の場合はそうするように自分で決意しているの意になる。

2 その他の学習項目

① 「～やすい」「～にくい」

どちらも動詞や動詞型助動詞の連用形について、形容詞と同じ形をつくる。

「～やすい」

(1) 「～するのがやさしい、簡単だ」の意。対象に容易さの原因があり、プラス評価である。

- このペンは書きやすい。
- 覚えやすい名前、使いやすいかばん

(2) 「容易にそうなる、とかくそうなる、そうなりがちだ、～しがちだ」というような性質を対象が持っている場合に用いる。マイナス評価である。

- この戸ははずれやすい。
- むげやすい靴、病気になりやすい体質

「～にくい」

(1) 「～するのがむずかしい、簡単でない」の意。

- この薬はにがくて飲みにくい。
- 小さくて読みにくい字、歩きにくい靴

(2) 無意志性の動詞について、対象そのものの持つ性質が、客観的に見てその動詞の表す事柄の実行が困難であることを示す。

- この洗剤は水に溶けにくい。
- 水分を吸収しにくい布、電気の流れにくい物質

この映画では、「～やすい」は、②⑥「息がしやすい」、④⑤「食べやすい」が、「～にくい」は、②④「息がしにくい」、④③「食べにくい」が出ている。

② 「～すぎる」

程度またはその行動が過度であることを示す。したがって、いい状態についてはふつう言わない。「～」の部分には、形容詞、形容動詞の語幹（例：大き-すぎる、にぎやか-すぎる）、「だ」を伴う副詞（例：ゆっくり-すぎる）、動詞（連用形）（例：飲み-すぎる）などが入る。

この映画では、⑤⑨「多すぎます」、⑥⑩「食べすぎ」、⑥⑥「遠すぎます」が出ているが、⑥⑩のように動詞についた場合は名詞の形でもよく使われる。

なお、「ある」「ない」を言う形容詞の「ない」の場合は、「さ」を入れて「時間がなさすぎる」のようにするが動詞などの打ち消しに用いられる助動詞の「ない」の場合は、「食べなさすぎる」「働かなすぎる」と言って、「さ」は入らない。

③ 「～といい」

「～」の部分には動詞、形容詞、形容動詞の基本形（終止形）が入る。

この映画では、⑧「練習するといい」、⑩「習うといい」、②⑤「泳ぐといい」、③①「大きく手をかくといい」があるが、どれも「そうすることが望ましい、そうするとうまくいく」の意味を表している。これらは勧める意味が強いが、「病気がはやく治るといい」「大学に入れるといい」など願望を表す場合にも用いられる。また、この映画には「動詞+といい」の形しか出ていないが、「もっと安いといい」「親切だといい」など、「形容詞、形容動詞+といい」の形で用いられ、この場合は願望の意味が強い。（第22巻参照）

④ 「～してみる」

「見る」の本来の意味を失って、「～を試みる」「ために～する」という意味をもつ。したがって意志性動詞についた場合に、この意味が生じる。動詞の「～て」形のひとつである。この映画では、②⑦「やってみますね」、②⑧「泳いでみてください」、⑥②「向こうまで行ってみましょうよ」、⑦⑩「行ってみましょうよ」の四例が出ている。第13巻参照。

⑤ 「～ながら」

「～」の部分には動詞の連用形などが入り、「ながら」の前の動作と後の動作が同時に進行することを示す。同時といっても、話し手の意識としては後の方に重点がある。

- 本を読みながら歩いてはあぶない。
- 歩きながら本を読んでは頭に入らない。

この映画では「ながら」は、③⑩「手をかきながら足をあわせませす」、⑧⑩「釣りをしながら眠っていたんです」の二例が出ている。

使用にあたって

1 効果的な使い方

この映画は「可能表現」の指導用に作製されたにもかかわらず、可能の言い方が六種類しか出てこない。その上、導入につかえるような、「能力があるかどうか」をはっきり示す映像もない。したがって、導入用、練習用として利用するには不適當である。以下、復習用としての使い方を述べる。

この映画は夏の海水浴地が舞台で、ストーリーが親しみやすく、また最後にオチがあるので作品としてもまとまっている。

使用にあたっては、全体の流れをとらえる上から一度全体を通して見せ、次に少しずつ見せてもよいが、場面がかなりはっきりわかれているので、初めから適当な所で切りながら見せてもよい。いずれにせよ一度目は見せたあとで簡単な質問をするなどして、大筋がつかめているかどうかチェックし、次に、説明を加え、練習をしながら進めるとよい。

先に述べたように、可能の表現が非常に少ないので、練習が映画の中のせりふだけに終わらないように留意する。たとえば

場面Ⅰ 日本語でこの場にふさわしいあいさつができるか

夏休みには海へ泳ぎに行けるか

場面Ⅱ 水泳のほかにどんなスポーツができるか (スポーツに用いる動詞で)

どのぐらい泳げるか (学生自身)

水泳はどんな所で習えるか (日本で、自分の国で)

場面Ⅳ 自分の国ではどんな料理が安く食べられるか

その料理が作れるか など

話題を発展させ「可能動詞」を「～ことができる」の形に変えさせたりしながら「～やすい」「～にくい」「～ながら」「～ようになる」「～といい」などの表現も含めて、実際の会話のやりとりで応用練習することが望ましい。

2 練習帳について

P 9は、ストーリーのまとめ。□には可能表現その他を入れる。

P 10は、この巻の主要学習項目のまとめ。

P 11～P 15は、主要学習項目の練習。

P 16は、重要な部分の聞きとり、VTRをこの場面で見せる際に書き取らせる。

3 トピック

海水浴

この映画は海水浴場が舞台となっているが、海水浴は日本人の夏のレジャーとして盛んで、広く一般に親しまれているものである。これは、住んでいる場所にもよるが、比較的、手軽に、安く楽しめるレジャーだからであろう。

シーズンとしては、南に位置する沖縄・奄美を除いて、7・8月が中心だが、特に、梅雨のあける7月半ばから、台風襲来前の8月半ばまでが、海水浴場の最も混雑する時期である。

都会から交通の便がよく、砂浜の多い場所には、更衣所、休憩所（「海の家」と呼ばれることもある。）、食堂、貸ボート・ヨットなどの施設の整った海水浴場があり、シーズン中は海水浴客でにぎわう。海水浴場のある付近には、民宿とって、一般民家が副業としてふつうそのシーズンだけ営む簡単な宿泊施設のあるところも多い。

この映画の舞台となっているのは、千葉県勝浦市^{うら}鶴原というところであるが、千葉県は東京に近いこともあって、海水浴場が多い。しかし、東京により近い東京湾側は大工業地帯となり、それとともに海水浴場としての適地が少なくなってきた。そのため近年は外海に面した水のきれいな太平洋岸の海水浴場に足を伸ばす人々が増えている。この映画の舞台も外海の海水浴場で、この近くの^{おんじやく}御宿も夏は海水浴客でにぎわう。また、それより北の九十九里浜にも海水浴場がたくさんある。

ほかに、東京に近いところでは、神奈川県^{かんとう}の湘南地方に、江の島、葉山など有名な海水浴場が多い。

レジャーとしての海水浴は、日本では明治の終わりごろに始まったといわれるが、近年では、海岸での海水浴のほかに、学校や県、市町村でもプールをもつところが増え、私営の一年中泳げる室内プールも各所にできて、水泳人口が増加している。

シナリオに沿って

I	(せりふなし)、(四人のあいさつ) 和 夫 ① ほら、あの海ですよ。	ホーム
II	和 夫 ② 明君は泳げますか。 明 ③ あそこの岩ぐらいまでは泳げますよ。 和 夫 ④ ほーお。 ⑤ ずいぶん泳げますね。	浜辺で

■ 語彙・表現

ほら：注意を喚起するときに言う。

明君：「明」は姓名の名。「～君」はふつう同輩または目下に使われる。

岩：1.大きな石。2.地面や山をつくっている固い物質。

ほーお：感心し、かつ驚いたことを示す。目上にはふつう使わない。

ずいぶん：程度が相当であること、はなはだしいことを示す副詞。

映像 ⇒ プラットホーム(フォーム) 列車(電車) 跨線橋 あいさつ 握手

■ 文法

②泳げますか。③泳げますよ。⑤泳げますね。

可能動詞「泳げる」の「～ます」形。「泳ぐ」→「泳げる」→「泳げます」。能力を示す。

③あそこの岩ぐらいまでは泳げますよ。

この「ぐらい」はおよその程度を表し、全体で「あそこの岩あたりまでなら泳げる」の意。

■ 留意点

四人の関係、状況はどうであるかをとらえながら見ていくように注意をうながす。

①の「あの海ですよ」は、その前に、「これから泳ぐのは」とか「前に話したことのあるのは」などが省略されている。

II	和 夫 ⑥ 夏子さんは？ 夏 子 ⑦ わたしはほとんど泳げません。 真理子 ⑧ じゃあ、この機会に練習するといいですよ。 夏 子 ⑨ ええ。 真理子 ⑩ お兄さんに習うといいわ。 ⑪ ね、お兄さん。 和 夫 ⑫ うん。	浜辺で
----	---	-----

■ 語彙・表現

ほとんど：「ほとんど～ない」。全くというわけではないが、全くに近いぐらい「～ない」の意。

機会：何かをするのに、ちょうどぐあいのいいとき。→ チャンス

うん：「はい」のくだけた言い方。男性の方がよく使う。

練習する(習う)：「練習する」が一人ですのを主体にしているのに対して、「習う」は教える人がいる。「練習する」は習ったことを自分でまたやってみる意を含む。

■ 文法

⑥夏子さんは？

「夏子さんは泳げますか」の意。この「は」は、②の「明君は～」の「は」と対応するものである。二人の対比において話題をすすめるのに使われている。イントネーションは文末が上がる。

⑦わたしはほとんど泳げません。

可能動詞の否定の言い方。その能力を持っていないという意味。

⑧練習するといいですよ。⑩習うといいわ。

そうすることが望ましいという意味。「～といいですよ」のほうが、「～といいわ」よりていねい。「わ」は女性が使う。

■ 留意点

⑧の「この機会に」というのは「せっかく海へ来ているのだから、このときに」の意。

⑩の「お兄さん」はふつう自分の兄のことを他人に話すときは「兄」という。

■ 生活・文化

～さん、～君：日本語では人の呼びかけ、言及に「あなた」などの二人称はあまり使わない。「あなたは泳げますか。」というより「～さん／～君は泳げますか。」のほうがふつう。また、家族同志や親しい間柄、友達以外はふつう名ではなく姓を使う。名でいう場合でも、通常「さん」や「君」をつける。

II	真理子	⑬	じゃあ、わたしたちは泳ぎに行きましょう。
		⑭	ね、明君。
	明	⑮	うん。
		⑯	向こうの岩まで行けますか。
	真理子	⑰	うん。
	和夫	⑱	明君はなかなか上手に泳ぐことができますね。
	夏子	⑲	ええ。
		⑳	真理子さんも上手ですね。

■語彙・表現

なかなか：(期待していたよりも) かなりよく。「なかなか～ない」と否定形に呼応する用法もある。「なかなかできません。」(第16巻参照)

向こう：1. 遠くの方。2. 反対側。3. あちら。4. 相手側。ここでは1.
上手：何かをしったり作ったりする技術がすぐれていること。↔下手

映像 ⇒ 波 平泳ぎ

■文法

⑬わたしたちは泳ぎに行きましょう。

「～に行く」の「に」は目的を表し、「～」には動詞(連用形)が入る。(第10巻参照)「～ましょう」は、ここでは勧誘を表す。(第9巻、13巻参照)

⑯向こうの岩まで行けますか。

「行けます」は可能動詞「行ける」の「～ます」形。ここでは、能力可能。

⑱明君はなかなか上手に泳ぐことができますね。

「～ことができる」は、その動作が可能であることを表す。

⑳真理子さんも上手ですね。

真理子さんも「上手に泳ぐことができる」、「泳ぐのが上手だ」の意。「も」は「明君」に対応する。

■生活・文化

上手ですね：日本人は、外国人が少しでも日本語を話すのを聞くと、「日本語が上手ですね。」と言うことがある。日本人の間ではこのようにほめられた場合、たとえ上手でも「いいえ、まだ下手です。」などと言って謙遜するのがふうである。

III	和 夫	⑲	さあ、そこからここまで泳ぐことができますか。	海の中で
		⑳	泳げるじゃあないですか。	
	夏 子	㉑	でも、少しです。	
	和 夫	㉒	息がしにくいんですね。	
		㉓	体をこう立てて、泳ぐといいですよ。	
		㉔	顔が上がって、息がしやすいです。	
		㉕	やってみますね。	

■ 語彙・表現

さあ：行動のきっかけをつけるときの掛け声。

息：呼吸。→ 息をする

顔が上がる：顔が水面からはなれて前に向く。

やる：「する」と大体同義だが、「する」より意味範囲は狭い。

■ 文法

⑲そこからここまで泳ぐことができますか。

「～から～まで」はここでは場所の出発点と到着点を示す。「～ことができます」を用いた可能表現。

⑳泳げるじゃあないですか。

→「泳げるでありませんか」。ほとんど泳げないと聞いていたのに、そのわりには泳げるという意外感を表している。

㉑でも、少しです。

「泳げるとは言っても、少し泳げるだけです。」の意。「でも」は「逆接」の接続詞。

㉒息がしにくいんですね。㉓息がしやすいです。

㉒は息をするのが容易でないこと。㉓は容易なことを表す。難易の対象物を示すときは、助詞は「が」をとる。(p.31参照)

㉔体をこう立てて、泳ぐといいですよ。

そうするとうまくいく、という意味。(p.32参照)

㉕やってみますね。

「ためしに～する」の意。

■ 生活・文化

㉑のように日本では、能力のあることを示したとしても、「少しです」と謙遜するのが一般的。

III	和夫	⑳ さあ、泳いでみてください。	海の中で
		㉑ そう、そう、うまいですよ。	
		㉒ 手をかきながら、足を合わせます。	
		㉓ もう少し大きく手をかくといいですよ。	
		㉔ うまい、うまい、うまいですよ。	
		㉕ 前よりも泳げるようになりましたね。	
	夏子	㉖ ええ。	
	和夫	㉗ さあ、向こうまでいっしょに泳ぎましょう。	
	夏子	㉘ ええ。	
IV	明	㉙ わあー、すごいなー。	レストラン
		㉚ いただきます。	

■ 語彙・表現

そう、そう：相手のしていることや言葉を認める気持ちを表す。

うまい：1. 上手。2. おいしい。ここでは1の意味。

もう少し：今の動作・状態より少しだけ。

手をかく：手で水を後ろに押しやって進むこと。

足を合わす：開いた足を閉じること。

わあー：感心したり驚いたりした気持ちを表す。

すごいなー：「すごい」は、程度がふつうでないこと。「なー」は、感嘆を示す。

映像 ⇒ レストラン かに

■ 文法

㉒ 泳いでみてください。

「～てください」は試しに何かをすることを人に勧めるときの表現。

㉒ 手をかきながら、足を合わせます。

「ながら」は同時進行を示す。

㉓ もう少し大きく手をかくといいですよ。

そうするといい結果が出るの意。(p.32参照)

㉕ 前よりも泳げるようになりましたね。

「より」は、その前に置かれたものを比較の基準としてしていることを示す。

「も」は強調。「～ようになる」は、「～」が可能動詞の場合、それができる状態に到達したことを表す。

IV	三人	㊸	いただきます。
	夏子	㊹	わたし、こんなに食べられないわ。
	明	㊺	だいじょうぶ、だいじょうぶ。
		㊻	ぼくが食べますよ。
		㊼	これ、食べにくいですね。
和夫	㊽	それはね、こうすると簡単にとれます。	

■ 語彙・表現

こんなに：(=このように) ここでは「こんなにたくさん」の意味。

だいじょうぶ：心配いらない。ここでは「です」が省略されている。

ぼく：「わたし」と同義。男性が使う。

こうする：(=このようにする) 実際にやってみせるときに使う。

簡単に：容易に。手数がかからずに。

■ 文法

㊹こんなに食べられないわ。

動詞の一段活用 of 可能形 (未然形に「られる」がついた形)。「食べられる」の否定形である。

㊼これ、食べにくいですね。

「～にくい」は、食べるのがむずかしい、困難だの意。(p.31参照)

㊽こうすると簡単にとれます。

「と」は条件を表す。(第22巻主要学習項目参照)「私と同じようにする」ことが条件。結果は、かにの肉が殻からはずれること。「とれる (とれます)」は「とる」の可能動詞。

■ 生活・文化

いただきます／ごちそうさま (でした)：前者は食事を始めるときに、後者は食事が終わったときに言う常用表現。感謝の気持ちを含む。

おしぼり：日本の飲食店では客の注文を聞く前に、コップに入った水 (飲用) のほか、手をふくためのおしぼりを持つてくることがある。

IV	和夫	④5	ほら、食べやすいでしょう。	レストラン
		④6	あっ、全部は食べられませんよ。	
		④7	ここと、ここしか食べられません。	
	真理子	④8	泳ぎは上手になりました？	
	夏子	④9	まだまだ上手になりません。	
	和夫	⑤0	ずいぶん泳げるようになりましたよ。	
	明	⑤1	何メートルぐらい？	
	和夫	⑤2	もう、2、30メートルは泳げますよね。	

■ 語彙・表現

泳ぎ：動詞「泳ぐ」の名詞。泳ぐこと。水泳。

まだ：1. 状態が以前と変わらないこと。2. 目ざす段階・時期に達しないこと。

あとに打ち消しを伴うことが多い。「まだまだ」は強め。↔もう

■ 文法

④5食べやすいでしょう。

④3の「食べにくい」との対語。④4の「簡単に」と同様の意味。「することが容易だ」ということである。「でしょう」は、この場合、相手に同意を求める言い方。

④6全部は食べられませんよ。④7こことここしか食べられません。

④6の「は」は、一部は食べられるが、という意味。「全部食べられない」とは意味が異なる。「食べられません」は不可能だという意。「食べられる」→「食べられない」。④7の「しか」は、それだけに限るという意を表わす。打ち消し表現と呼応する。

④8泳ぎは上手になりました？

「～なる」はそのような状態に変化すること。第15巻主要学習項目参照。

⑤0ずいぶん泳げるようになりましたよ。

「～ようになる」の言い方。(p.39の③③、p.42の⑤⑤参照)

⑤22、30メートルは泳げますよね。

「2、30メートル」は、はっきりと数量を確定せず、だいたいそのぐらい。「は」は前の語を限定し、強調する。

■ 生活・文化

魚介料理：海に囲まれた日本では漁業がさかんで、日本人の食生活に水産物は欠かせないものである。漁港や海水浴場の近くの料理店では、店によっては新鮮な海産物を食べさせてくれる。その中で特に、かにや海老は嗜好品として好まれている。

IV	明 ⑤③ そうですか。 真理子 ⑤④ それはすごいですね。 ⑤⑤ きっと上手に泳げるようになりますよ。 夏子 ⑤⑥ ごちそうさま。 和夫 ⑤⑦ もう、いいんですか。 夏子 ⑤⑧ ええ、もう食べられません。 ⑤⑨ 多すぎますね。 夏子 ⑥⑩ 明、食べすぎじゃないの。 明 ⑥⑪ だいじょうぶですよ。	レストラン
----	--	-------

■ 語彙・表現

すごい：程度がはなはだしくて、驚くほどだという意。

きっと：見込みや期待どおりになるはずだという確信を表す。まちがいなく。

ごちそうさま：食事が終わったときに言う常用表現。→(いただきます)

もう：⑤⑦の場合は「ずいぶん早く終わった、もっと食べられるのでは」という気持ちを含む。⑤⑧の場合は「これ以上は」の意。否定形と呼応。

■ 文法

⑤⑤ きっと上手に泳げるようになりますよ。

「～ようになる」は「～」の部分に可能動詞を入れて、能力がそこに達したという言い方。③⑨参照。「きっと(可能動詞)ようになる」の形で、「必ず可能になる」とはげます言い方。

⑤⑧ もう、食べられません。

能力可能を表す。もうこれ以上は食べることができない、の意。

⑤⑨ 多すぎますね。 ⑥⑩ 食べすぎじゃないの。

「～すぎる」は程度が過度であることを示す。形容詞「多い」に「～すぎる」の形で適量を越えていることを表す。動詞の場合は「連用形+すぎる」である。「～すぎ」という名詞の形でもよく使われる。(p. 32 参照)

V	明	⑥②	向こうまで行ってみましょうよ。	浜辺
	真理子	⑥③	どこ？	
	明	⑥④	ほら、向こうに釣りをしている人が見えるでしょう。	
		⑥⑤	あそこまで。	
	真理子	⑥⑥	遠すぎますよ。	
		⑥⑦	あそこまで行って、20分や30分でもどって来られません。	
		⑥⑧	お姉さんが心配しますよ。	
	明	⑥⑨	だいじょうぶ。	
		⑦⑩	行ってみましょうよ。	

■語彙・表現

向こう：ここでは「あちらの方」の意。漠然とした場所を示す。

釣り：糸にたらしめた針に引っかけて魚をとらえること。

もどる：もとのところ、もとの状態にかえる。

お姉さん：ここでは夏子のこと。弟、明から見ての呼び方を使っている。

心配する：悪い結果、悪いことが起こることを気にして心を悩ますこと。

■文法

⑥②向こうまで行ってみましょうよ。 ⑦⑩行ってみましょうよ。

「行ってみる」は試しに行くこと。「～ましょう」は勧誘。

⑥④釣りをしている人が見えるでしょう。

「釣りをしている」は、文による連体修飾で、具体的に何を釣っているかわかれば「～を釣っている人」ともいえる。「見える」は、自発の意味をもった自動詞。「でしょう」は上昇イントネーションで同意を求めている。

⑥⑥遠すぎますよ。

程度が過度であることを表す。

⑥⑦20分や30分でもどって来られませんよ。

「や」は少ない方の例をあげて、そんな時間では可能でない、ということを表す。「来られない」は「来る」の可能動詞の否定の言い方。不可能の意。

(p.29参照)

VI	明	⑦①	おかしいな、だれもいませんよ。	岬の岩場
	真理子	⑦②	へんですねー。	
		⑦③	きゃー。	
	明	⑦④	えっ。	
	真理子	⑦⑤	足が。	
	明	⑦⑥	あっ。	
		⑦⑦	なあーんだ。	
		⑦⑧	眠っていたんですか。	
	釣り人	⑦⑨	ええ。	

■ 語彙・表現

おかしい：1. 変だ。2. 怪しい。3. おもしろい。ここでは1.の意。

だれも：後ろが否定表現になる。だれも～ない。

へん：上の「おかしい」の1.の意

きゃー：驚いたときに発する女性の叫び声。

えっ：驚き、疑問、強い感動などを表す。

なあーんだ：意外な状況にあきれたり、がっかりしたときに発する。「なんだ」を強調して伸ばして言ったもの。

眠る：心やからだの活動が休止して、無意識の状態になる。

映像 → 叫び声をあげる 起きあがる ゴムぞうり

■ 文法

⑦⑧眠っていたんですか。

「～ている」はこの場合、状態の継続。「～んですか」は、その場の状況からの自分の判断を相手に確認していることを表す。(第10巻、12巻参照)

■ 留意点

⑦⑤の「足が」は、あまりびっくりしたために、あとの言葉が続かない。どんな言葉が補足されるか考えさせるとよい。ここでは感動詞がいくつか出ているが、それぞれの語とその使われる状況を結びつけて理解させる。

VI	釣り人	⑧⑩	釣りをしながら眠っていたんです。
	真理子	⑧⑪	驚いたわ。
	明	⑧⑫	何が釣れますか。
	釣り人	⑧⑬	くもが釣れますよ。
	明	⑧⑭	えっ、くも？
	釣り人	⑧⑮	ほら、くもがあるでしょう。
	明	⑧⑯	ほんとだ。
		⑧⑰	くもが釣れていますね。

■ 語彙・表現

驚く：予想していなかったことに接して、びっくりする。

くも（雲）：空気中の水分が粒、氷片になったもので、白い綿のように浮かんでいる。→ くも（蜘蛛）

ほんとだ：（＝ほんとうだ）真実だ。事実だ。ここでは感動詞的用法。

映像 ⇒ 釣り糸 バケツ のぞきこむ 映る 海草

■ 文法

⑧⑩釣りをしながら眠っていたんです。

「ながら」の前後の動作が同時に進行すること。（p.32参照）

⑧⑫何が釣れますか。

「釣る」の可能動詞「釣れる」。自発的意味あい強い。（p.29参照）

⑧⑮くもがあるでしょう。

「～でしょう」で、同意を求めている。

⑧⑰くもが釣れていますね。

状況により、自然に釣れた状態になって、そこに存在していることを表す。継続ではない。自発性の強い可能形にのみ、「～ている」がついて、存在を表すことができる。

■ 留意点

⑧⑩は釣りをしながら眠るといのは同時進行と考えると変なようだが、眠っていても釣り糸をたれたままにしておくということで、釣りがまだ進行中と拡大解釈すれば同時進行の意味が成り立つ。

⑧⑬「くもが釣れる」という表現は、この例のように冗談として初めて存在しうる。「雲」と「蜘蛛」の同音異義による洒落。授業では同音異義語に言及してもいいだろう。釣り人は「何も釣れない」ことを⑧⑬によって、洒落て言ったとみてもいい。

VII	夏子	⑧⑧	どこへ行っていたんですか。	浜辺
		⑧⑨	ずいぶん心配したわ。	
	真理子	⑨⑩	ごめんなさい。	
		⑨⑪	あの岬まで行っていました。	
	明	⑨⑫	釣りをしている人がいたんですよ。	
	和夫	⑨⑬	何が釣れていたんですか。	
	明	⑨⑭	くもが釣れていました。	
	和夫	⑨⑮	くも……。	

■ 語彙・表現

ごめんなさい：わびるときの言葉。「すみません」よりくだけた言い方。

岬：陸地の、海・湖に突き出た所。半島より規模が小さい。

映像 ⇒ 手をかざす

■ 文法

⑧⑧どこへ行っていたんですか。

「行っていた」は前にある所に、ある時間またはある期間とどまっていたことを表す。「～んですか」は相手に説明を強く求めている気持ち。

⑨⑫釣りをしている人がいたんです。

「あの岬には釣りをしている人がいた。」と岬でのことを説明している。「～ている」「いた」の時制に注意。岬には今もその人は「いる」かもしれない。私が過去に見た、そのとき、そこに人が「いた」。釣りをしている最中だった。

■ 生活・文化

釣り：釣りは大人から子供まで気楽に楽しめるスポーツとして人気が高い。日本は海に囲まれており、また川も多いことから、海釣り、川釣りどちらもできる。ほかに「釣り堀」といって、池に飼ってある魚を入場料をとって釣らせる所もある。

第 18 卷

よみせをみに いきたいです

— 意志・希望の表現 —

目的・構成

1 目的

この映画は、意志・希望の表現である「(～する)つもりだ」、「～(よ)うと思う」、「～たい／～たがる」、「ほしい／ほしがると」、時間的経過のある段階を示す「(する／している／した)ところだ」の意味・用法の言語場面に即した理解をめざしている。

2 構成

この映画は、上野のよみせを中心に話が展開し、四人の男女がよみせを見て歩くという設定になっている。

	文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I	① ⑨	石井の部屋	石井と田中は、よみせを見に行く相談をし、京子も誘うことにする。	～たい	
II	⑩ ⑳	石井の家— 電話口	石井は京子を誘い、京子は香を誘う約束をする。	～するつもり ～(よ)うと思っている ～たい／～たがる	
III	㉕ ㉖	喫茶店	石井、田中が待っているところへ京子が、最後に香が現れる。喫茶店での会話。	～たがる するつもりだ したばかりだ ほしい	
IV	㉗ ㉙	金魚すくいの店	石井、田中、香の三人は金魚すくいをする。	～たがる するつもりだ するところだった	
V	㉚ ㉛	よみせの一角	写真をとり続ける京子を見つけた三人と京子の会話。	しているところだ したところだ ～たい	
VI	/	やきそば屋	せりふなし。		
VII	㉜ ㉝	水中花を売る店の前	水中花をみて、京子と香は買う。石井と田中はその素材について話す。	ほしがると／ほしい ～でできている	
VIII	㉞ ㉟	よみせの一角	京子は写真をとって終わり、ビールを飲みに行く相談をする。	～たい したところだ したばかりだ	
IX	㊱ ㊲	すし屋(1)	すし屋に入り、ビールを注文する。	したところだ	
X	㊳ ㊴	すし屋(2)	ビールで乾杯し、雑談する四人。	～たい	

学習項目

1 主要学習項目

① 「～たい／～たがる」

(1) ～たい

「たい」は、動詞（また、動詞の使役「～せる／させる」、受身「～れる／られる」）の連用形につき、話し手自身はその動詞の表す行為の実現を希望するときの表現である。「～たい」は、形容詞型の変化をする。

ジュースが飲みたい。

ジュースは飲みたくない。

ジュースが飲みたかった。

ジュースは飲みたくなかった。

なお、希望、欲求などの情意の有無は話し手本人にしかわからないため、主格が、二人称、三人称の場合は、上記の例文のような言い切りの形は使えない。

相手（二人称）の希望を表す場合は、疑問文、または、念押し確認の文にする。

あなたもジュースがのみたいですか。

あなたはジュースがのみたいのですね。

あなたはジュースがのみたいのでしょう。

主格が第三者（三人称）の場合は、

あの子はジュースをのみたがっている。（後述）

彼もジュースが飲みたいのだ。

彼女はあまり飲みたくないようだ。

山田君はジュースが飲みたいそうだ。

のように、話し手が他者の心的状態を推定、伝聞、判断したということが示されるような形式、または説明的な引用表現「～たいと思っている」「～たいと言っている」などを伴うのが一般である。次の文が映画中に出現する。

① あーあ、どこかへ行きたいですね。

⑭ ええ、ぜひ一諸に行きたいです。

⑥⑥ もう少し、このあたりの写真をとりたいんですが。

⑧① ビールが飲みたいです。

⑨⑤ ああ、ビールが飲みたかった。

⑩⑤ ええ、また来たいですね。

⑨⑨ 香さん、何が食べたいですか。

⑦ (京子さんが)よみせの写真をとりたいと言っていました。三人称

一人称

二人称

連体修飾句の中に「たい」が用いられる場合も上で述べた制約が働き、話し手以外には、言い切りの表現は使えない。

⑦⑥ とりたいものは、だいたいとり終わったところです。

「～たい」の表現において、その希望、欲求の対象は「を」で表す場合と「が」で表す場合があるが、「～を～たい」は動詞部分が強調されるのに対し、「～が～たい」は対象の部分が強調される。

(2) ～たがる

「～たがる」は、第三者の持続した希望、欲求を話し手が、動作や表情からとらえて述べるときに用いられる。目上については使わない方がよい。主格が二人称(相手)の場合も、その相手の心情が第三者の場合と同じように観察されるときには、用いることができる。また、話し手自身についても、過去の回想やほかからの伝聞によって、自分の心情を客観的に推測する場合には用いられる。

おまえが行きたがっていた映画につれて行ってやろう。

わたしは子供のころは、よく父の肩にのりたがったらしい。

ただし、初級レベルでは、主格が三人称のときの「～たがる」のみを導入する。この映画では、次の場面に表れる。

①⑦ だれかほかに行きたがっている人、いませんか。

①⑨ そうだ、香さんが、よみせを見たがっていましたよ。

③① 香さんも、とても行きたがっていましたよ。

④⑧ ほら、あの子、あんなにしたがっていますよ。

「～たがる」は動詞型の変化をする。対象を示す助詞は「を」になる。

② 「ほしい／ほしがる」

「ほしい」は、あるものを手に入れたいという欲求を表す形容詞であるが、「ほしい」と「ほしがる」の用法の違いは、「たい」と「たがる」の違いと同じである。したがって「～がほしい」「～をほしがる」となる。

映画では、次の場面に表れる。

場面Ⅵ ④② わたしもこんなの(が)ほしいわ。

④④ どうしてもほしくて買いました。

Ⅸ ⑦⑦ わたしもほしいわ。

⑥⑨ 妹がこれをほしがっていました。

③ 「～つもりだ」「～(よ)う」

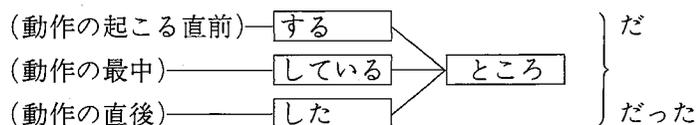
「～つもりだ」は、話し手自身の予定、計画、意志、決意を表す。動詞の基本形と否定形につく。「～つもりではない」「～たつもりで～」の形は初級段階では導入しない方がいい。第三者が主格になる場合は、推定、伝聞などの表現を伴う。

「～(よ)う」はこの映画では、意志を表す場合の表現が出て来る。五段動詞の場合は「(オ段)+う」、一段動詞は「(不変化部分)+よう」になる。「する」は「しよう」に、「くる」は「こよう」になる。初級レベルでは、「～(よ)うと思う」の形で導入される。「～(よ)う」は情意が強いが、「～つもりだ」はさらに具体的な計画がすすみ、実現する可能性が高い場合の表現である。映画に出る場面は、

- ⑪ 今夜、上野のよみせへ田中さんと行くつもりなんですが……。
- ⑫ まあ、私も行こうと思っていました。
- ⑬ ええ、たくさんとるつもりです。
- ⑭ もっと、すくうつもりですか。

④ 「(する/している/した) ところだ」

「ところ」は、本来、空間的、地理的な場所をさす語であるが、さらに時間的位置や抽象的なある個所をもさす。ここでは、時間的な「ところ」のうち「動詞+ところ」についてのみふれる。



映画に現れる表現は次のとおりである。

- ⑮ ほら、そこでフィルムをかえているところです。
- ⑯ 二本目のフィルムが終わったところです。
- ⑰ ええ、とりたいものは、だいたいとり終わったところです。
- ⑱ いま、そのよみせですくってきたところなんですよ。

過去を表す「するところだった」は、単に過去の事実を表す場合のほかに、この動詞の表す状態になりかけた(しかし、そうならなかった)ことを表す場合がある。次の一文はこの例である。

- ⑲ あー、もう少しですくえるところだった。

⑤ 「(した) ばかりだ」

「したばかりだ」は、何かをした直後である、あるいは、それから間がないことを表す。「したところだ」が、その動詞の表す事柄が終わった時点で重きを置いた表現であるのに対し、「したばかりだ」は、動作が終了してからの時間の短かさに重きが置かれる。次の場面が映画に現れる。

- ⑳ わたしも今来たばかりです。
- ㉑ さっき、やきそばを食べたばかりじゃないですか。

2 その他の学習項目

① 「で／から」

「～で～を作る」の「で」は、使用する材料を指定する語である。原料が製品になったときに、性質、形態などが、著しく変化する場合「から」を用いることもある。この場合も、「で」の使用は可能であるから、「で」の用法を中心に指導し、「から」は紹介する程度でかまわないだろう。映画では次の表現がある。

- ⑦① これ、何でできてるんですか。
- ⑦② これは、木でできているんですよ。
- ⑦③ ふーん、木で作ってあるんですか。

② 「～と思う」「～と言う」

「と」は、「思う」「言う」「書く」「信じる」などの前について、その内容を表す。

- ⑦④ よみせの写真をとりたいと言っていました。
- ⑦⑤ わたしも行こうと思っていました。

使用にあたって

1 効果的な使い方

この映画は導入部の情景がいかに「退屈している」、「どこかへ行きたい」ということを表しており、全体の話の運びも悪くない。ただ、場面の数が多いので、学習者の程度によっては、はじめに全体を通して見せて、二度目にひとつひとつの場面にもどって、説明や練習を入れながら見せるより、最初から一場面ずつ切って、理解の程度を見ながら練習もさせ、最後に全編を通して見せ、ストーリーの展開が理解できているかをみる方がよいかもしれない。

場面の数は多いものの、日常場面が多い——下宿、電話、喫茶店、すし屋など——ので、場面に親しみやすい上、役立つ表現も多く、このような場面での基本的な言い方を学習項目とともに指導すれば学習効果はあがるのではなからうか。

この映画の主要学習項目の中心である「たい／たがる」、「ほしい／ほしがる」の理解と練習のためによい場面がたくさんあるので、繰り返し見せることで、理解と実際場面での使用が可能になるのではないか。その他の学習項目である「(する)つもりだ」「～(よ)う」「(する／している／した)ところだ」、「(した)ばかりだ」については、用法のちがいを理解するのは、初級の中段階の学生には、難しいからかなりの練習を要するのではなからうか。学習者の程度によっては「～ところだ」と「～(した)ばかりだ」は意味の理解だけにとどめ、「たい／たがる」「ほしい／ほしがる」の練習を中心にすすめてもよいと思う。

よみせは日本の風物としては身近なものであるから、夏であれば、学習者といっしょに実際に行ってみて、学習項目を用いて作文を書かせるなどするのも、学習に役立つであろう。

2 練習帳について

- p 17. は映画のストーリーと、重要な表現のまとめ。教授者が確認しながら。
- p 18. 主要学習項目のまとめと練習。教授者は整理しながら穴埋めをさせる。
- p 19～p 21. 文法事項の練習。
- p 22～p 23. 主要学習項目の応用。会話をおぼえさせ、置き換え練習をさせる。
- p 24. 教室でビデオ全体を見せたあとで内容質問に答えさせる。

IIのディクテーションは場面IIを見せるときに書き取らせる。

シナリオに沿って

I	石井	①	あーあ、どこかへ行きたいですね。	石井の部屋
	田中	②	そうだ。	
		③	今夜、よみせを見に行きませんか。	
	石井	④	どこの？	
	田中	⑤	上野ですよ。	
	石井	⑥	あー、京子さんが上野のよみせの話をしていました。	
		⑦	よみせの写真をとりたいと言っていましたよ。	
	田中	⑧	じゃあ、電話して誘ってみましょうよ。	
	石井	⑨	ええ。	

■ 語彙・表現

あーあ：残念、退屈、嫌なこと、困ったこと、などに出会ったときの感情を直接表現する。語調に注意。

そうだ：何かを思いついたり、思い出したときに言う。

よみせ：夜、通りにそって出る小さな店。(夜店・夜見世)

映像 ⇒ レコード ふすま 本箱 たたみ

■ 文法

①どこかへ行きたいですね。

「行きたい」は希望を表す言いかた。「どこへ行きたいですか」は、行き先に注目した質問で、「どこかへ行きたいですか」は、行きたいかどうかを問う。

⑥京子さんがよみせの話をしていました。

⑦よみせの写真をとりたいと言っていました。

「話をしていた」「～と言っていた」は、第三者の話したことを相手に伝える言い方。「とりたい」は希望を表す。「～たいと言っていた」は、第三者の希望を伝える言い方。

■ 留意点

空のコーヒーカップや皿、たばこの吸いがらの入った灰皿、雑誌や新聞が散らかっている部屋で所在なく座っている二人の男性。「遠くへ行きたい」のレコードがかかかっていて、いかにも①のせりふが出そうな雰囲気である。

■ 生活・文化

よみせ：社寺の本尊がこの世に縁をもつ日を「縁日」といい、この日にその神仏を念ずれば功德があると言われ、縁日の人出をあてこんで、境内には、露店や見せ物が出、よみせも縁日の風物として親しまれている。

II	石井 ⑩ あー、京子さん。 ⑪ 今夜、上野のよみせへ田中さんと行くつもりなんです ですが…。 京子 ⑫ まあ、わたしも行こうと思っていました。 石井 ⑬ じゃあ、いっしょに行きませんか。 京子 ⑭ ええ、ぜひいっしょに行きたいです。 石井 ⑮ 五時に、いつもの喫茶店で会いましょう。 京子 ⑯ ええ。 石井 ⑰ だれか、ほかに行きたがっている人、いませんか。 京子 ⑱ そうですね。 ⑲ そうだ、 ^{かみ} 香さんが、よみせをみたがっていましたよ。 石井 ⑳ そうですか。 京子 ㉑ ええ。 石井 ㉒ 香さんも、誘っててください。 京子 ㉓ ええ。 ㉔ じゃ、五時に。	(電話で)
----	--	-------

■ 語彙・表現

喫茶店：飲み物やケーキ、軽食などを出す店、待ち合わせ場所によく使われる。

映像 → 電話 鏡 カーテン

■ 文法

⑪上野のよみせに田中さんと行くつもりなんです……。

文の終わりに「が」をつけて、その後の文を省略することで、暗黙のうちに相手の意向を尋ねている。「～つもりだ」は主要学習項目、予定を表す。

⑫まあ、わたしも行こうと思っていました。

主要学習項目の一つ「～(よ)うと思う」。意志を表す。

⑭ぜひいっしょに行きたいです。

「ぜひ」は「～ください」「～たい」について、依頼や希望の気持ちを強調する。

⑰行きたがっている ⑲みたがっていました。

第三者の希望を表す「たがる」の言い方。

■ 留意点

誘いの電話のかけ方を応用練習させることが出来る。待ち合わせ時間と場所を決め約束する。

■ 生活・文化

いつもの喫茶店：「いつも」といっているところから、この二人の行きつけの喫茶店であることがわかる。どこかへ行く際、まず喫茶店で落ち合うことも一般によく行われている。

III	京子	㉔	どうも。	喫茶店
	石井・田中	㉕	やあ。	
	京子	㉖	さっき、電話をありがとう。	
	田中	㉗	京子さん、香さんも誘いましたか。	
	京子	㉘	ええ。	
		㉙	さっき、電話をしました。	
		㉚	香さんも、とても行きたがっていましたよ。	
	石井	㉛	よみせの写真をとるんでしょう。	
	京子	㉜	ええ、たくさんとりつもりです。	

■ 語彙・表現

どうも：「ありがとう」「すみません」などにつけて気持ちを強める言葉で、あいまいさや、あるいは手軽さを表すときは、「どうも」とだけ言う。

やあ：男性がびっくりしたときや、気楽な仲間とのあいさつに使う。

さっき：ちょっと前。

映像 ⇒ カウンター

■ 文法

㉚香さんも、とても行きたがっていましたよ。

第三者の希望を表す表現。電話をした時点で、「行きたがる」状態だったので過去形「～たがっていました」となる。

㉜ええ、たくさんとりつもりです。

「～つもりだ」は、主要学習項目、予定を表す表現。

■ 留意点

「どうも」は、このような場面で最初の発言者が「どうも」と言うことは少ない。

特にこの位の年代の女性がこのような言い方をするとは思われないが、㉖の「電話をありがとう」に続くと考えればよい。

㉚㉜を合わせて、いろいろな場面で応用練習をさせることができる。

例 { A：明日は早く起きるんでしょう。 { A：学校へはバスで行くんでしょう。
 { B：ええ、六時に起きるつもりです。 { B：ええ、七時のバスで行くつもりです。

■ 生活・文化

ゆかた：最初は麻布の単衣仕立て、藍の一色で大型の柄を染め、湯上がりの体をふき、汗取りに着る長着であった。綿布が普及してからは木綿に変わり、現在まで続いている。夏の日常に着るようになったのは江戸時代からである。

III	香	③4	遅くなってごめんなさい。
	京子	③5	わたしも、いま来たばかりです。
	店員	③6	いらっしゃいませ。
		③7	何にしましょうか。
	京子	③8	そうですね、コーヒーをください。
	香	③9	ええ、わたしも。
	店員	④0	はい。
	京子	④1	すてきなゆかたですね。
		④2	わたしもこんなの、ほしいわ。
	香	④3	この間、デパートでみつけたんですよ。
		④4	どうしてもほしくて買いました。
	京子	④5	そうですか。
		④6	とてもいいですね。

■ 語彙・表現

どうしても：たとえ、どんな困難があっても。必ず。

ゆかた：湯あがりや夏のくつろいだときに着る木綿のひとえの着物。(前ページ参照)

この間：現在よりも少し前のある日。先日。「さっき」は、時・分を単位として少し前。

映像 ⇒ ウェートレス お盆 砂糖入れ 帯

■ 文法

③5わたしも今来たばかりです。

「(した)ばかりだ」は、動詞の表す動作が完了した直後を表す。

④2わたしもこんなのほしいわ。

「ほしい」は、手に入りたいという欲求を表す形容詞。

④4どうしてもほしくて買いました。

「ほしくて」の「て」は、この場合理由を表す。

■ 留意点

「何にしましょうか」は、客のほしい品、指定するものを尋ねる表現。→「何をさがしですか」、「何をさしあげましょうか」。③6～③9は、喫茶店やレストランに入ったときによく用いられる表現なので、教室でも役割分担して、語彙をかえながら練習するとよい。

すてきな……ですね：人の物ち物や、店先の品物をほめるときに使う表現で、プレゼントをもらったときなどにも使える。

IV	田中	④7	あー、金魚すくいですね。
	香	④8	ほら、あの子、あんなにしがっていますよ。
	田中	④9	ぼくたちもやりませんか。
	香	⑤0	ええ、やりましょう。
		⑤1	いくらですか。
	金魚すくい屋	⑤2	一回、百円です。
	香	⑤3	はい、三百円。

■ 語彙・表現

ほら：相手の注意をひくように言うことば。

やる：行う。「する」よりもくだけた言い方。

はい：1.呼ばれて答えたり、相手のことばを聞いていることを表したりする。

2.肯定・承諾などの意を表す。3.注意をうながすことを表す。ここでは3..

あんなに：あのように。様子を見て、それを示す。

映像 ⇒ 財布 あみ 電球

■ 文法

④8ほら、あの子、あんなにしがっていますよ。

第三者の欲望、希望を表す言い方。

■ 留意点

④8は「～たがる」の理解をはかるのに大変適切な場面なので同種の表現を工夫させるとよい。→「あんなに行きたがっています。」「あんなに帰りがたがっています。」

⑤1～⑤3は、遊園地で切符を買う、八百屋で大根を買う、本屋で本を買う、など、物を買ってお金を支払う場面では必ず使う応用のきくパターンである。

「いくらですか」は、店で何かを買って勘定を払う場合に使う。女性なら、「おいくらですか」。

「一回、百円です」の、一回につき百円という表現は、回数、値段を変えていろいろな練習ができるパターンである。「一回」と「一度」は同じ意味に使われる場合も多いが、この場合は「一度」は使えない。

■ 生活・文化

金魚すくい：もなかの皮や針金に和紙をはったもので金魚をすくう遊び。すくった金魚はもらって帰る。夏祭りやよみせでは、必ず見られるもので、日本の夏の風物ともいえる。

IV	香 ⑤4	あーあ、残念。
	石井 ⑤5	ぼくは、2匹すくいました。
	香 ⑤6	もっと、すくうつもりですか。
	田中 ⑤7	ええ、もちろん。
	香 ⑤8	そおっと、そおっと、静かに。
	⑤9	あー、もう少しですくえるところでしたね。

■ 語彙・表現

あーあ、残念：期待のとおりならなくて困ったり、不満足であったりする気持ちを表す。

すくう：1.液体や粉を、てのひらやスプーンなど、なかのくぼんだもので取り出す。2.液体のなかにあるものを、てのひらやスプーン、あみなどにうけて取り出す。3.相手の足などを、ややうわむきにはらい上げる。この場合は2.→水の中から金魚をすくう。

もちろん：問題にするまでもなく。→「もちろんすくうつもりです。」

そおっと：そっと、音をたてないようにして。気づかれないように。

映像 ⇒ ビニール袋

■ 文法

⑤6 もっと、すくうつもりですか。

「もっと」はこれ以上、たくさん。「～つもりだ」は主要学習項目。予定、意志を表す。この場合は強い意志を表す。

⑤8 そおっと、そおっと、静かに。

「すくいなさい」が省略されている。相手に指示を与えたり、声援をおくったりするとき、述部が省略される。

⑤9 あー、もう少しですくえるところでしたね。

「もう少しで～ところでした」は、動詞の表す状態がおこりかかったが、実現しなかったときに言う表現。

■ 留意点

⑤9は、動詞を変えて残念な状況の人をなぐさめる表現の練習に使うとよい。

⑤6⑤7も、動詞をかえて会話練習することができる。

V	田中 ⑥0	あれ、京子さんは？
	石井 ⑥1	ほら、そこでフィルムをかえているところです。
	香 ⑥2	どうです？
		⑥3 だいぶとれましたか。
	京子 ⑥4	ええ。
		⑥5 2本目のフィルムが終わったところです。
		⑥6 もう少し、このあたりの写真をとりたいんですが……。
	石井 ⑥7	じゃあ、先に行っています。
VI	せりふなし	

■ 語彙・表現

あれ：驚いたり、何かに気づいたりしたときに言う。

ほら：相手の注意をうながして言う。

フィルム：マイラー（プラスチックの一種）の膜に感光乳剤を塗ったもので、写真や映画で使う。

だいぶ：かなり。非常にというほどではないが、相当な。

映像 ⇒ ちょうちん ふうりん ベっこう飴 焼きそば

■ 文法

⑥1 ほら、そこでフィルムをかえているところです。

「(している)ところだ」は、動作の最中であることを表す。

⑥2 どうです。 ⑥3 だいぶとれましたか。

「どうです。」は、写真の撮影状況はどうか質問している。「とれる」は「とる」の可能形。

⑥5 二本目のフィルムが終わったところです。

「終わったところだ」は、ちょうど今、フィルムが終わったという意。

⑥6 このあたりの写真をとりたいんですが……。

「このあたり」は、この辺。自分が現在いる所の周辺。「とりたい」は希望を表す。

■ 留意点

「～目」は、数を表す言葉につけて順序を表す。いろいろな数を表す言葉に「目」

をつけて練習させるとよいだろう。「前から何番目」「何軒目の家」など。

VIのセリフのないところに「焼きそばを食べているところです。」を入れさせるとよい。

VIのよみせで、「おばさんが何かを買おうとしています」と言わせる。

■ 生活・文化

焼きそば・ベっこう飴・風鈴・ちょうちん・水中花・金魚すくい：これらは、縁日のよみせには欠かせない風物である。

VII	香 ⑥8 わあー、きれい。
	京子 ⑥9 妹がこれをほしがっていました。
	香 ⑦0 わたしもほしいわ。'
	田中 ⑦1 これ、何でできているんですかね。
	石井 ⑦2 これは、木でできているんですよ。
	田中 ⑦3 ふーん、木で作ってあるんですか。
	石井 ⑦4 ええ、きれいなものですね。

■ 語彙・表現

わあー：驚いたり、喜んだりするとき出る喚声。

映像 ⇒ 水中花

■ 文法

⑥9妹がこれをほしがっていました。

「ほしい」は、欲求を表す。主格が三人称の場合「ほしがる」になる。話し手が妹と話した時点での妹の欲求を表すので「～たがっていました」となる。

⑦0わたしもほしいわ。

自分の欲求を「ほしい」で表す。⑥9と対比させて理解させる。

⑦1これ、何でできているんですかね。

⑦2これは、木でできているんですよ。

⑦3ふーん、木で作ってあるんですか。

この映画では、「～でできている」の表現しか出てこないが、「～からできている」も紹介しておく。「できている」「作ってある」のちがいを指導するとよい。同一の場面で自動詞、他動詞のニュアンスの違いをわからせるのは難かしいが、「できている」は、結果の状態に視点がある。「作ってある」は動作に主眼がおかれ、その結果としての物を見ている表現。

■ 留意点

⑦1⑦2⑦3の会話は主語をいろいろ入れかえて、「～でできている」「～で作ってある」の練習が出来る。

■ 生活・文化

水中花：コップに入れ、水を注ぐと花が開くように作ってある飾りもの。

VIII	田中	⑦⑤	京子さん、写真はとり終わりましたか。
	京子	⑦⑥	ええ、とりたいものは、だいたいとり終わったところです。
	石井	⑦⑦	じゃあ、少し休みませんか。
	田中	⑦⑧	何か食べたいですね。
	香	⑦⑨	さっき、やきそばを食べたばかりじゃあないですか。
	京子	⑧⑩	少し、疲れました。
		⑧⑪	ビールが飲みたいですね。
	田中	⑧⑫	じゃあ、ビールを飲みながら、おすしを食べましょうか。
	京子	⑧⑬	行きましょう。
	石井	⑧⑭	ええ。

■ 語彙・表現

やきそば：蒸した中華そばを肉や野菜といっしょに焼いたり、揚げたりした食物。

おすし：酢と塩・砂糖で味をととのえた飯と、魚や貝、たまご焼きなどをくみ合

わせた料理。なれずしの場合は、東南アジア諸国にもあるが、巻きずしや握りずしは日本独特の料理と言える。

■ 文法

⑦⑤京子さん、写真はとり終わりましたか。

「～終わる」「～始める」の形。動詞は連用形。

⑦⑥とりたいものは、だいたいとり終わったところです。

「～たい」の希望表現が、連体修飾になっていることに注意。「～たいもの／ところ／こと／人」などの形で練習する必要がある。「(した)ところです」は、たった今、動作が終了した時点であることを示す。

⑦⑧何か食べたいですね。 ⑧⑪ビールが飲みたいですね。

「～たい」は願望の表現。「何か」は対象を特定していない。対象に「が」を使うのは、対象を強調している場合。

⑦⑨さっき、やきそばを食べたばかりじゃないですか。

「(した)ばかり」は動作が終了してから間がないことを強調する言い方。「さっき、したばかりじゃないですか。」は、相手を非難する気持ちがある。

⑧⑫じゃあ、ビールを飲みながら、おすしを食べましょうか。

「～ながら～する」二つの動作を同時に行う場合の表現。後の動詞に重点がおかれる。

■ 留意点

⑦⑧「～たいですね。」 ⑦⑨「さっき(この間)～したばかりじゃないですか。」の組み合わせで会話練習する。

IX	店主	㉔	はい、いらっしゃい。
	石井	㉕	ビールを3本。
	店主	㉖	はい、ビール、3本。
	店主	㉗	おっ、金魚ですね。
	田中	㉘	今、そのよみせですくって来たところなんですよ。
	店主	㉙	そうですか。
		㉚	きれいな金魚ですね。
		㉛	はい、ビール、おまちどうさま。

■ 語彙・表現

おっ：驚きの表現。男性の言葉。

映像 ⇒ のれん 包丁

■ 文法

㉘今、そのよみせですくってきたところなんですよ。

「(した)ところだ」は、直後の意味。「～なんですよ」は、説明している気持ちを表す。

■ 留意点

「ビールを三本。」という客の注文に対して、「はい、ビール、三本。」と店の人が繰り返しているところに注意する。㉕㉖の場合も同じ。㉗では終助詞「ね」をつけて、注文の内容を確認している。スーパーのレジなどでは、金額を読みあげて客の確認をとっている。

「はい、ビール、おまちどうさま。」は、客を待たせた場合はもちろん、あまり待たせなくても、「お待ちどうさまでした」、「お待たせいたしました。」と言う。この画面ではビールを差し出した人は何も言わないで、すしを握っている人が発言している。しかし、実際には、このように無言で差し出すことはないであろう。

■ 生活・文化

すし屋：すしは、日本人にとってはごちそう。麴類など、ほかの飲食店における品目より一般に値段が高い。一人前を注文する食べ方と食べたいものを注文しながら食べる食べ方がある。

X	京子 ⑨③	じゃ。
	石井・田中 ⑨④	どうも。
	京子 ⑨⑤	あー、ビールが飲みたかった。
		⑨⑥ 今日はとてものどが乾きました。
	香 ⑨⑦	ええ。
	店主 ⑨⑧	何にしましょう。
	石井 ⑨⑨	うーん、香さん、何が食べたいですか。
	香 ⑩⑩	そうですね。
		⑩⑪ わたしは、まぐろとえび。
	店主 ⑩⑫	まぐろとえびですね。
	香 ⑩⑬	ええ。
	田中 ⑩⑭	おもしろい店がたくさんありましたね。
	香 ⑩⑮	ええ、また来たいですね。
	石井 ⑩⑯	ええ。

■ 語彙・表現

のどが乾く：水が飲みたい状態になる。「のど」は口の奥の部分。

うーん：人に何かを尋ねられて、即答できないときに、答えるまでの間をもたせるために言う。「えーと。」「えーとですね。」などと同じ。

まぐろ：刺身やすしの材料として最もポピュラーなもの。海水産の魚。

えび：海や川にすむ節足動物。すし、てんぷら、祝いぜんなどの材料。

■ 文法

⑨⑤あー、ビールが飲みたかった。

「飲みたい」は、希望、願望の表現。「したかった」と過去形が使われている。飲みながら、過去形を使うのはおかしいようだが、ビールを口にする以前の情意を表すのである。感嘆を表すイントネーションで発話。

⑨⑨うーん、香さん何が食べたいですか。

「したい」の質問の形。希望、願望を問う。助詞「が」をとるのは対象に主眼がおかれているため。

⑩⑩わたしはまぐろとえび。

「～が食べたい」「～を注文する」「～です」などが省略された形。

⑩⑮また来たいですね。

「来たい」は⑨⑤と同じく希望、願望の表現。「来る」が用いられているのは、よみせのあるところに自分を置いて発話しているからで、遠く離れば「また行きたいですね。」となる。第14巻参照。

■ 留意点

⑨③⑨④のせりふと動作に注意。「乾杯」ほど大きでない場合、「お疲れさま」のような意をこめてこのように杯を上げる。

第 **19** 卷

てんきが いいから さんぽを しましょう

— 原因・理由の表現 —

目的・構成

1 目的

この映画は、原因・理由を言い表す「から」「ので」の意味・用法の理解をはかり、さらには前件と後件の因果関係の理解を通して、複文の構文上の問題を理解する端緒とする。

2 構成

映画は、お茶の水駅付近、大学構内、神田書店街、桜並木のほぼ四つの場面からなる。ストーリーは、三人(二人の女子学生と一人の男子学生)のある春の午後の行動を追って展開する。

	文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I	①	お茶の水駅前	駅改札口付近で、順子が待っている。正子現れる。	「～てしまう」 「～から、～ましょう」	
I	④				
I	⑤	聖橋付近	順子、正子、駅を後にする。	「～ので、～のです」	
II	⑧	大学構内	二人、掲示板の前を通りかかる。	「～ので」「～から」	
II	⑨				
II	⑳	大学構内(図書館の前)	二人、山田に会う。神田と桜見物に行く相談。	「～ので、～てしまった」 「～からです」	
II	㉓				
II	㉕	大学構内(図書館の前)	正子、図書館へ本を返しに行く。順子、掲示板を見に行く。	「～から、～ください」 「～ので、～ます」	
II	㉖				
III	㉗	神田書店街	本をさがすが、みつからない。	「～ので、～ます」	
III	㉘	書店の前	本さがしをあきらめるといふ山田に、正子がもう少しさがそうと提案。順子同意。	「～からです」 「～ので、～ます」 「～から、～ませんか」	
III	㉙				
III	㉚	書店の中	山田、本をみつけ、購入する。	「～から、～ください」	
IV	㉛	桜並木	桜を見て、三人感嘆する。	「～らしい/ようだ」	
IV	㉜	桜並木ベンチ付近	三人ベンチで休む。山田、順子と正子に礼を言う。	「～ので、～ました」 「～て、～です」	
IV	㉝				

学習項目

1 主要学習項目

① 「～から～」

「から」は前件の文が後件で述べる事柄の、理由、原因、根拠であるような二つの文を接続する。話し手の発話意図は後件の文にあり、それを支える理由、根拠として前件の内容を付加する表現である。後件の文には勧誘や命令などモード性の高い文形式をとることが多い。勧誘または命令によって、相手を話し手の意図に従わせようとする場合、その理由や根拠を明確に述べなければならないのは当然である。この映画で扱われている「から」は、次のとおり。

- | | |
|----------------------------------|-------|
| ③山田さんが待っているから、急ぎましょう。 | 意向・勧誘 |
| ⑬山田さんが待っているから、早く行きましょうよ。 | 勧誘 |
| ⑳今日は、お天気がいいから、散歩をしましょうよ。 | 勧誘 |
| ㉕この本を図書館に返してきますから、ちょっと待っていてください。 | 命令 |
| ㉗ここで待っていますから、早く行って来てください。 | 命令 |
| ㉙せっかく来たのだから、もう少しさがしてみませんか。 | 勧誘 |
| ㉛お金を払って来ますから、ちょっと待っていてください。 | 命令 |
| ㉝本は買ったから、桜を見に行きましょう。 | 意向・勧誘 |

② 「～ので～」

「ので」は因果関係のある二つの事柄を客観的に把握し、叙述するとき用いる。まず、前件を「の」で名詞化し、断定の「だ」の中止法「で」に続けたものが「ので」である。前件の事柄を断定し、それが動かぬ事実であることを確認したあと、その結果として当然おこるべき事柄を後件で述べるのである。事情や状況の説明に用いられることが多い。映画には次の文が出現する。

- | | |
|--------------------------------|------|
| ⑦この本を返さなくてはならないので、図書館の前で会うんです。 | 事情説明 |
| ⑫学校が始まったので、ずいぶんにぎやかになりましたね。 | 事実描写 |
| ㉒わたしが遅れたので、遅くなってしまいました。 | 事情説明 |
| ㉔さっき掲示板を見る暇がなかったので、ちょっと見てきます。 | 意向 |
| ㉖この店にはないので、ほかへ行ってさがします。 | 意向 |
| ㉘疲れたので、もう本をさがすのは、やめます。 | 意向 |
| ㉚ずいぶん歩いたので、疲れしました。 | 事実描写 |

③ 「～て、～」

中止法「て」自体には、理由、結果の関係を表す働きはない。まず前件の事柄が存在し、それから後件の事柄が存在するのである。話し手の視点が、前件から後件へ推移するのである。「～て」による接続には次のような場合がある。

例1 車が故障して、遅刻した。(因果関係)

例2 山田さんに会って、本を返した。(動作の推移)

例3 山田さんは本を読んでいて、田中さんは手紙を書いている。(並列)

例1のように、前件が後件の理由になる場合もあるが、この場合、理由と結果の関係が社会的通念として無理なく認められることと、後件の述部に制約があることに注意。初級レベルの学習項目のうち次の表現が述部にくる場合は、理由を表すための「て」は使えない。(1)命令形 (2)意志「～(よ)うと思う」(3)義務「～なければならない」(4)許可「～てもいい」(5)禁止「～てはいけない」(6)勧誘「～ませんか(ましょう)」(7)提案「～たほうがいい」、など。この映画には次の文が出ている。

① ああ、ごめんなさい、遅くなってしまって。

② ゴめんなさい、遅くなってしまって。

③ 歩きすぎて、足が棒のようです。

④ 複文の問題

(1) 前件の文体

前件の文として「から」「ので」ともに普通体、「です・ます」体の両方をとることができる。「から」を用いた文に比べ「ので」を用いた文の方がより丁寧な印象を受ける。これは「から」が積極的に理由、根拠を強調するのに対し「ので」は客観的な事実として述べる言い方であるためであろう。

① この店にはないから、ほかへ行ってさがします。

② この店にはありませんから、ほかへ行ってさがします。

③ この店にはないので、ほかへ行ってさがします。

④ この店にはありませんので、ほかへ行ってさがします。

①②③④のすべての表現が可能であるが、④は丁寧すぎて不自然な感じもある。初級レベルの学生には、②③を重点的に練習させればよいだろう。なお若い学習者の場合は、①を聞く機会も多いと思うので、学習者の層に合わせ練習の重点を定めることが望ましい。この映画には①②③が出現する。

(2) 接続

から——動詞、形容詞、形容動詞、名詞(文)、助動詞の普通体、「です/ます」体に接続する。名詞(文)、形容動詞(文)の現在形は「だ」をとる。

注：命令形と意志を表す助動詞「～(よ)う」、「～まい」は「から」に接続しない。

ので——動詞、形容詞、形容動詞、名詞(文)、助動詞の普通体、「です/ます」体に接続する。名詞(文)、形容動詞(文)の現在形は「な」をとる。

注：助動詞の中で意志を表す「～(よ)う」、「～まい」、推量を表す「～だろう」、「～まい」、また「説明」の「～のだ」と命令形は「ので」に接続しない。

「ので」が推量の表現「～だろう」に接続しないのは、事実を確認するという「ので」の性質と、まだ起こっていないことを表す推量があいれないためであろう。意志の「～(よ)う」を「から」「ので」ともにうけないのは意志形はそれ自体で完結する表現で、修飾的な性質を持たないからである。

ただし「～と思う」の形をとれば「～(よ)う」も「～だろう」も接続が可能になる。

て——動詞、形容詞および受け身、使役、打ち消しの助動詞の「～て」形に接続する。動詞の「～て」形については第11巻を参照。名詞(文)、形容動詞(文)は「で」になる。

(3) 後件の文末表現

この映画では「勧誘」「命令」の文には「から」を用い、「事情説明」「事実描写」「意向」の文には「ので」を用いるというように、後件の文末表現によって「から」「ので」のどちらをとるか限定してしまっている。初級の学生に指導する場合は、このような限定が「から」「ので」の違いを理解させる上で適当だと思う。もちろん一般には「意向文」は「から」「ので」両方をとるし、「命令文」「勧誘文」もより丁寧な表現を目指す場合は「ので」を用いることがある。

(4) 「から」だけにある用法

㉑ 「～からだ/～からである」という言い方

「AだからBである」を倒置して「Bである。なぜならAだからである」の言い方。

「どうしてないのでしょうかね。」「古い本だからです。」

㉒ 終助詞的な用法

すぐ持って行きますから……。

—ここは危険だからと、全員逃げ出した。

㉓ 係助詞や「といて」などとの結合

「～からは」「～からには」「～からといて」など。

⑤ 「～らしい」「～ようだ」

(1) 「らしい」

「名詞+らしい」の形で形容詞を作る接尾辞である。「男らしい(男)」「女らしい(女)」「子どもらしい(話し方)」「スポーツマンらしい(態度)」のように用いられる。名詞の部分はかなり自由に造語できる。意味は「～としての特徴をたくさん持っている」、また「～という気持ちを起こさせる」の意。

推量の「～らしい」は第20巻「さくらが きれいだそうです」で学習する。

(2) 「～ようだ」

① 様子や状態を何かにたとえる意を表す。「～に似ている」

4月なのに 夏のような暑さだ。

まるで石のように固いパンだ。

㊦まるで雪が降っているようです。

㊧歩きすぎて、足が棒のようです。

この用法の中には、㊧のように、比喩として固定している言い方も多い。「蚊のなくような声」「雪のように白い」など。

② 条件に合うものとして具体的に例示する。

サッカーやラグビーのような激しい運動が好きだ。

北海道のような寒い地方では、春と夏がいっしょにやってくる。

あなたのような意地の悪い人はきらいだ。

この映画では②の使い方が取り上げられている。「まるで～ようだ」の形で定着させたい。形容動詞型の活用をする。

「から」と「ので」がうける形（普通体の場合）

	だ	
学生	だった	から
静か	ではない	
	ではなかった	

	な	
学生	だった	ので
静か	ではない	
	ではなかった	

楽しい	から/ので
楽しかった	
楽しくない	
楽しくなかった	

行く	から/ので
行った	
行かない	
行かなかった	

2 その他の学習項目

① 「の」(名詞句化)

句、節を名詞化し、「～こと」の意味に置きかえる働きをする。映画中の用例

⑫ 疲れたので、もう本をさがすのは、やめます。

では、「本をさがすことは、やめます」と言いかえることができる。

「の」がうける形—動詞、形容詞、形容動詞、助動詞(意志「～(よ)う」、推量「～だろう」を除く)の連体形。「の」の場合と同様)

丁寧さの度合いにもよるが「です/ます」はうけにくい。

後続する形—「の」には名詞と同じように、格助詞、係助詞、副助詞が続く。

「の」によって名詞化された句の述語としては、形容詞、形容動詞は自由に使えるが、動詞には次のような制約がある。この場合「こと」が用いられる。

命令 要請などの意味を持つ動詞	×静かにするのを 頼んだ。
勧誘 提案などの意味を持つ動詞	×家にいるのを すすめた。
「考える」の意味を持つ動詞	×空を飛ぶのを 考えた。
「習う」「学ぶ」の意味を持つ動詞	×毛筆で書くのを 習った。
できる(能力)の意味を持つ動詞	×ピアノをひくのが できる。

② 「ある」「ない」

ここで扱う「ない」は、<ある事物の存在が認められない状態>を表す。非存在の形容詞「ない」と、その反対の意味をもつ、存在の動詞「ある」である。

「ある」「ない」の意味を分類すると、およそ次のようになる。

1. 見聞きしたり、感じたり、考えたりすることによって認められる事物の存否
例— 本、風、心配、質問、チャンス、話……
2. 備わっていることが認められる状態である/ない
例— 教養、人間味、実力、口ひげ、電話、庭……
3. 行われる/行われない
例— 試験、会議、音楽会、スポーツ大会……
4. 関係の存否 (いる/いない、 生きている/生きていない)
例— 兄弟、姉妹、夫、妻、子供、友人、親
5. 仕事をしなくてはならない/しなくてもよい状態である
例— 用事、時間、暇、休み

「ない」の丁寧体は、「ありません」であることに注意したい。

ない/ありません (初級段階の発話語彙として「ないです」)
ある/あります

使用にあたって

1 効果的な使い方

この映画を教室で利用する際に、映像教材一般に言えることであろうが、一時停止などを使って練習に入るまえに、少なくとも一回、全巻を通して見せてしまうのが望ましい。初めて見る映画の場合、背景や風物などに気をとられがちだからである。特にこの映画のように因果関係を扱った表現では、全体の流れを知った上でないと、理由、原因とその結果の関係が把握しにくい場合が多い。

初級段階では「から」と「ので」の意味上、用法上の違いをはっきりさせるために、あまり時間を費やすべきではない。映画で扱っている範囲に限って、述部の表現との関連から、事実描写、事情説明には「から」「ので」両方が使え、「から」より「ので」のほうが丁寧な表現、勧誘、命令には「から」を使うことが多い、という程度の違いを意識させればよい。

また、この巻では、「です、ます」体を基調としているが、③⑨「あら、これは、わたしがいま見ていた絵とよく似ているわ。」、④③「その店は、どうかな。」⑤②「ああ、疲れた。」の三か所で、独り言的な発言として、普通体を導入している。しかし、これは聞いてわかるという程度に止めておくべきであろう。普通体には、さまざまな終助詞やイントネーションの複雑さが要求され、自然な発話を獲得するのは、丁寧体よりもはるかに難しいからである。

2 練習帳について

25ページは、映画のストーリーの理解と確認を助けることをめざしている。画面に表れる部分、行動、発話と、画面には直接表れない、あるいは、せりふとして表れているが学習者が見のがしやすい部分に分け、前者を大まかに図式化し左欄に、後者をその行動、発話の動機、理由として右欄に記した。

26ページは、主要学習項目の整理と確認を目的としている。「～から」「～ので」「～て」の接続形のおもなものをまとめたのが上の表である。表中の()の部分は、学習者自身が書き入れるための空欄であるが、後に教室で答えの確認をするなどして表の完成を計り、以後の学習の過程で折にふれ参照できるものにしておきたい。

27～31ページは、宿題など学習者の自習用として使うことが可能である。

32ページは、教室用の練習問題である。各問、「から」「ので」節だけを記して、主節が空いており、後に→が二つついている。上の→は、教室でビデオを見せた後、それに続く主節を映画中から聞き取ることを要求しており、下の→は、それぞれの節に続く主節を学習者自身が考えることを要求している。

シナリオに沿って

I 1	正子 ①	ああ、ごめんなさい、遅くなってしまって。
	順子 ②	もう20分すぎよ。
		③ 山田さんが待っているから急ぎましょう。
	正子 ④	あら、ほんとう？

■ 語彙・表現

ごめんなさい：おわびを言うときの言葉。

もう：早くもそのときが来たことに対する驚きを表す。↔まだ

20分すぎ：約束の時間が1時で、今1時20分であることが⑩とあわせて考えるとわかる。

あら：軽い驚きを表す。

ほんとう：ここでは、「そうですか」ほどの意味。

映像 → 駅 改札口

■ 文法

①遅くなってしまって。

「～てしまう」は、不都合な事態や困ったことになった場合に使われる(第12巻P.25参照)。ここでは、「ごめんなさい」と許しを乞うと同時に、意に反した事態になって悔いる気持ちを表している

③山田さんが待っているから、急ぎましょう。

「～から、～ましょう」は、理由をそえて勧誘する表現。後件の文が勧誘の場合は、「から」をとることが多い。初級レベルの学生には、この文型で覚えさせるといい。

■ 留意点

「ごめんなさい、遅くなってしまって。」と会ったとたん、あいさつ抜きでわびているのは、遅れたことを気にしていたためであろう。しかも、主文と従属文が入れかわって「ごめんなさい」が文頭にでている。このように、話し手が特に気にしていることがある場合、その気持ちの表現が文頭にでてくるのは、会話ではごく自然なことである。

「もう20分すぎよ」の「よ」は、話し手の主観や主張を強張する。特に長く発音したり、強く発音するとその調子が強められ、押しつけがましくなったりする点を注意しておきたい。

■ 生活・文化

待ち合わせ：画面の駅は、国電中央線、総武線のお茶の水駅である。待ち合わせ場所として、駅頭などを利用するのは、ごく一般的な習慣。

I 2	正 子 ⑤	山田さんが待っているんですか。	
	順 子 ⑥	ええ	
		⑦	この本を返さなくてはならないので、図書館の前で会うんです。
	正 子 ⑧	あら、そう。	
		⑨	何時に？
	順 子 ⑩	1時15分。	
	正 子 ⑪	ごめんなさい	

■ 語彙・表現

返す：↔借りる／貸す

～なくてはならない：義務を表す。→～なければならない（第13巻P.47、第21巻P.103参照）

そう：→そうですか

■ 文法

⑤山田さんが待っているんですか。

「～の(ん)です」は、ここでは、「山田が待っている」ことを初めて順子に聞かされた正子はその状況を納得する。「山田さんが待っているのか、わかった。」という気持ちで用いている。（第12巻P.27参照）

⑦この本を返さなくてはならないので、図書館の前で会うんです。

「～ので～です」は、因果関係にある一連の事実も描写する表現である。

ここでは、「[前件]ので[後件]のです」とさらに「～のです」を用いて、状況を説明している。

■ 留意点

⑦は、「(わたしは山田さんに)この本を返さなくてはならないので、(彼と)図書館の前で会うんです。」の主格や目的格を省略した形と言えるだろう。⑨は、「(あなたは)何時に(彼に会うんですか)」である。このように文脈上明らかなことは表現しない。

■ 生活・文化

聖橋、ニコライ堂：二人が話しながら通っているのは聖橋。遠景にみえる青い丸屋根は、ニコライ堂である。正式名はニコライ教会堂で、ロシア人修道僧ニコライが樹立した日本ハリストス正教会の中央本部。建立は1891年。

II 1	正子 ⑫ 学校が始まったので、ずいぶんにぎやかになりましたね。 順子 ⑬ ええ。 ⑭ わたしたちの授業は、来週からですね。 正子 ⑮ ええ。 ⑯ その掲示板に出ていましたね。	キャンパス
--------------	---	-------

■ 語彙・表現

ずいぶん：ふつうの程度を越える様子。

にぎやか：ここでは、人や物がたくさん出そろって活気のある様子。↔ 寂しい。

ね：⑫の「ね」は同意を求める表現。⑭は、確認の「ね」。

■ 文法

⑫学校が始まったので、ずいぶんにぎやかになりましたね。

「～ので、～ました」は、因果関係にある二件を、一連の事実として描写する表現。この場合、「から」に置きかえることも可能であるが、丁寧さは少なくなる。

⑭わたしたちの授業は、来週からですね。

この「から」は、出発点を表している。「来週からです」は「来週から始まります」の代用と考えられる。

⑯その掲示板に出ていましたね。

「～ている」は、ここでは「通達が掲示板に出る」という動作、作用の結果が残っている状態を表す。

■ 留意点

理由の「から」を指導する際に、出発点を表す「から」、時間的前後関係を表す「～てから」との違いを明確に整理してやること。特に「～たから」と「～てから」は発音の類似から聞き違えることが多い。「～てから」は⑬にある。

■ 生活・文化

日本の学校は、一部の例外を除き、小、中、高、大学すべて4月に始まり、3月に終わる。小、中、高校は、通常三学期制をとり、大学は、前期と後期の2学期制をとる。

掲示板：高校までと違って、大学では選択する授業もまちまちであり、キャンパスにいる時間も不規則。学校側からの通達手段として掲示板に負う部分が大い。内容は、休講、定期試験について、授業料の督促、そのほか教務上、事務上のこと。

II 1	正子 ⑰	ちょっと掲示板を見ていきませんか。
	順子 ⑱	山田さんが待っているから、早く行きましょうよ。
	正子 ⑲	そうですね。
II 2	順子 ⑳	ごめんなさい、遅くなってしまって。
	山田 ㉑	やあ。
	正子 ㉒	わたしが遅れたので、遅くなってしまいました。
		㉓ すみません。
	順子 ㉔	これ、どうもありがとう。
	㉕ ああ、どうも。	

■ 語彙・表現

やあ：出会い頭の軽い驚きを表すことばであるが、親しい間柄では、あいさつの代用もする。男性語。

■ 文法

⑱山田さんが待っているから、早く行きましょうよ。

「～から、～ましょう」は、理由を述べて行う勧誘。主文が「行きましょう」と勧誘表現で、しかも、文末に自分の意志を主張する「よ」があることにより、ここでは「から」を用いるのが適当。

㉒わたしが遅れたので、遅くなってしまいました。

「～ので、～しまいました」は、一連の事実を述べ、事情を説明し、しかも「～てしまう」を用いて、意に反した結果であることを示唆する表現。〈待たせて悪かった〉という正子の気持ちを「～てしまいました」を用いて表現している。この場合「ので」の代わりに「から」を用いるのは、文法上は可能であるが、後件が事実描写であること、遅れをわびるあらたまった表現であることから「から」より「ので」の方が適当である。

■ 留意点

「ちょっと」は、文字どおり〈少し〉の意味であるが、「ちょっと、お待ちください」「ちょっと、失礼します」「ちょっと、いらっしゃいませんか」など、依頼したり、誘ったりする折に頻繁に用いられる。これは「時間を短かく」という言葉に、相手に大きな負担をかけたくないという話し手の気持ちを託した表現であるといえるだろう。

II 2	山 田 ②⑥	今日は、何か用事がありますか。
	正 子 ②⑦	いいえ、この本を図書館に返すだけです。
	山 田 ②⑧	じゃあ、三人で神田へ行きませんか。
	正 子 ②⑨	ええ、いいですよ。
	③⑩	どうして神田へ行くんですか。

■ 語彙・表現

用事がある：すべき事柄がある。→用事がない

いいですよ：ここでは、相手の提案を評価し、同意する意。

どうして：「どんな理由／わけで」「なぜ」と理由をきくときの表現。

■ 文法

②⑥何か用事がありますか。

「何か～ありますか」は、不特定の事物の有無を尋ねる表現。不特定ながら「何か」のあとに来る語がその範囲を限定する。「何か読むもの」、「何か食べるもの」。(第4巻参照)

②⑦この本を図書館に返すだけです。

「～だけ」は、名詞や、動詞などの連体形につき、その事実を限定する。ここでは、②⑥の質問をうけて、「(用事は)……返すだけです」となり<それ以外にはない>の意。

③⑩どうして神田へ行くんですか。

ここでは理由を尋ねる表現を定着させたい。「どうして～の(ん)ですか」は、その最も一般的な表現。そのほか、「なぜ」「どんな理由で」を提示するといいたいだろう。これに対する応答の仕方の基本的なものは次のとおり。

1. (理由) から／ので (結果) です。 2. (理由) からです。 3. (理由) の(ん)です。

■ 生活・文化

神田(地名)：千代田区にあり、皇居の北側。ほぼ東京の中心に位置する。約120軒の古本屋を含む書店街があることで有名。全国の古書の約三分の二がここに集まっていると言われている。

II 2	山田 ㉑	日本画の画集を買いたいからです。
	順子 ㉒	今日は、お天気がいいから、散歩をしましょうよ。
	正子 ㉓	神田へ行ってから、桜を見に行きましょうよ。
	山田 ㉔	それはいいですね。

■ 語彙・表現

日本画：日本伝来の技法、形式、様式によって、おもに岩絵の具を用い、絹や紙などに毛筆で描く絵。→洋画。（第8巻、22巻参照）

天気がいい：→いい天気↔天気が悪い

■ 文法

㉑日本画の画集を買いたいからです。

「～からです」は、「結果」がすでに話題になっている場合に「理由」だけをとりたてて言う表現。ここでは、「画集を買いたいから、神田へ行くんです」と言うところを、神田へ行くことはすでに話題にのぼっているので、くり返すことをせず理由だけを述べている。同種の表現は㉔でも出現する。「ので」には、この表現はない。

㉒今日は、お天気がいいから、散歩をしましょうよ。

㉑と同様、「～から、～ましょう」は、理由をそえて勧誘する表現。後件の文が勧誘表現の場合、「から」の方が「ので」より勧誘の根拠がはっきりする。

㉓神田へ行ってから、桜を見に行きましょうよ。

「動詞「～て形」＋から」は時間的前後関係を表す。「神田へ行く。その後、桜を見に行く」の意で、桜を見る前に二つ以上の事柄をあげる場合「～て、～て、……てから」という形になる。この巻の学習項目である、理由、根拠を表す「から」との違いを明らかにしておく。

■ 留意点

㉒「散歩をしましょうよ。」㉓「桜を見に行きましょうよ。」の「よ」は、話者の意志、感情判断、意見などを、相手に強く主張する気持ちを表す。ここでは「よ」がなければ、単なる意向表現ともとれるが、「よ」によって、強い勧誘表現になっている。

■ 生活・文化

桜を見に行く：東京の開花期は4月上旬。開花日から満開日までは平均1週間。

日本各地の開花日の同じところを結んだ線を「サクラ前線」と呼ぶ。ソメイ吉野のサクラ前線は、3月末に九州に現れ気温が上るにつれて北上し、北海道に至るのは5月初旬になる。

II 3	正子 ③⑤	じゃあ、わたし、この本を図書館に返してきますから、ちょっと待っていてください。	
	順子 ③⑥	わたしも、さっき掲示板を見る暇がなかったので、ちょっと見てきます。	
	山田 ③⑦	じゃあ、ぼくは、ここで待っていますから、早く行ってきてください。	
	二人 ③⑧	ええ。	
III 1	順子 ③⑨	あら、これは、わたしがいま見ていた絵とよく似ているわ。	神田
	正子 ④⑩	そう？	
		④⑪ よく似ていますね。	

■ 語彙・表現

さっき：少し前、さきほど。

暇がない：時間がないと同義。↔暇がある→暇だ。

似ている：→同じ、違う。～と似ている、～に似ている、似る。

■ 文法

③⑤わたし、この本を図書館に返してきますから、ちょっと待っていてください。

③⑦ぼくは、ここで待っていますから、早く行ってきてください。

「～から、～てください」は、④⑪と同様、理由をそえて依頼する表現。「ので」がほとんどの場合、普通体をうけるのに対し、「から」は普通体、丁寧体の両方をうける。この映画中では、「ので」の全部が普通体をうけ、「から」は8回の出現中③⑤⑦⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿が丁寧体をうけている。これは三つとも依頼文であり、話し手があらたまって、丁寧に頼もうとした気持ちの表れであろう。

③⑥わたしも、さっき掲示板を見る暇がなかったので、ちょっと見てきます。

「～ので、～ます」は、④⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿と同様、理由をそえて意向を表明する表現。意向を表明する場合は、「から」でも可能であるが、文末が丁寧体のときは、より丁寧な印象を与える「ので」をとりやすい。

■ 留意点

③⑨の「あら」は、④⑧⑪⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿の「あら」に比べてかなり長く発音され、驚きや意外性が強調されている。④⑩は、「ソーオク」と上昇調で、半信半疑の気持ち。イントネーションにより意味合いが違ってくる。

■ 生活・文化

店内に平積みにした大型本がみえる。これは、画集や全集物で、できるだけたくさん収納するためであろう。古書店なので、一般書店内部とは、かなり違った様子である。

III 1	順子 ④②	あら、本は、なかったんですか。	
	山田 ④③	ええ。	
		④④	この店にはないので、ほかへ行ってさがします。
	順子 ④⑤	ええ。	
		④⑥	おまちどおさま。
	山田 ④⑦	その店は、どうかな。	
	順子 ④⑧	ありませんね。	
	正子 ④⑨	ないですね。	
	山田 ⑤⑩	あっちへ行ってみましようか。	
	順子 ⑤⑪	ええ。	

■ 語彙・表現

さがす：求めるものを発見すべく、調査、行動すること。

おまちどおさま：待たせた相手に言うあいさつ語。→(お待たせいたしました)

どうかな：丁寧には、「～は、どうでしょうか」。普通体であるのは、相手に話しかけるよりも、独り言的な発言であるため。

■ 文法

④②あら、本は、なかったんですか。

「～のですか」は、ここでは、山田が本を買った様子ではないので、順子が〈本はなかった〉と判断し、事実そうなのかどうかを尋ねている。

④④この店にはないので、ほかへ行ってさがします。

「～ので、～ます」は、③⑥⑤⑩と同様、事情を説明し意向を表明する表現。意向の表明は「から」でも可能であるが、「ほかへ行ってさがす」ことの「理由」として前件を述べるのではなく、「ので」を用いることで、〈本がない〉という、話者としてはどうにもならない事実を客観的に把握し、後件の意向を支える根拠としているのである。

④⑧ありませんね。 ④⑨ないですね。

「ない」の丁寧体「ないです」より「ありません」の方がふつうであることに言及し、定着をはかる。

⑤⑩あっちへ行ってみましようか。

「～てみる」は、なんらかの解決を期待して、とりあえずそれを試してみるの意を表す。(第17巻参照)

III 2	山 田 ⑤②	ああ、疲れた…。
	順 子 ⑤③	どうして、ないのでしょうかね。
	山 田 ⑤④	古い本だからです。
	順 子 ⑤⑤	そうですか。

■ 語彙・表現

疲れる：使いすぎのために、その本来の機能が低下する状態をいう。ここでは、歩きすぎたために、体調が低下し、それを自覚した状態。

■ 文法

⑤② ああ、疲れた。

「た」は、過去または完了を表すが、ここでは、「疲れる」という事態が起こり、その結果の状態が現時点まで続いていることを表す。「困った」「おなかがすいた」など。

⑤③ どうして、ないのでしょうかね。

「どうして～のでしょうか」は、③⑩の「どうして～のですか」に比べて説明を求める気持ちが少ない。ここではむしろ「本がなくて残念だ」という気持ちを表すために発言されたもので、必ずしも答えを期待しているわけではないだろう。「～しょう」は、疑問の調子をやわらげ、「ね」は、気持ちをわかち合おうとする表現。

⑤④ 古い本だからです。

「～だからです」は、③⑪と同様「(理由) から、(結果) です」の、理由だけを取りたてて一文とする表現。本がないという事情が前提となり、山田が「理由」だと判断した事実を取りたてて述べているのである。「ので」には、この用法はない。

■ 留意点

⑤⑤は「ソーデスカ↘」と下降調で、納得を表す。上昇調ならば半信半疑の気持ち。

III 2	山 田 ⑤⑥ 疲れたので、もう本をさがすのは、やめます。
	正 子 ⑤⑦ せっかく来たのだから、もう少しさがしてみませんか。
	⑤⑧ ねえ？
	順 子 ⑤⑨ そうですよ。
	⑤⑩ あの店に入ってみましょうよ。
	⑤⑪ ね。
III 3	山 田 ⑥② ああ、ありました。
	⑥③ ことです。

■ 語彙・表現

せっかく：行動の成果に大きな期待をかけている気持ちを表す。ここでは〈本を手に入れることを期待して、そのつもりで〉の意。「から／のに」と呼応することも多い。→「せっかくの」+名詞

■ 文法

⑤⑥ 疲れたので、もう本をさがすのは、やめます。

「～ので、～ます」は、③⑥④④と同様、事情を説明しての意向表明。「本をさがすのは」の「の」は、動詞(文)「本をさがす」を、名詞化している。(その他の学習項目、P.70参照)

⑤⑦ せっかく来たのだから、もう少しさがしてみませんか。

「～から、ませんか」は、理由をそえて勧誘する。「ので」に置きかえることは、できない。「せっかく来たのだから」の「～のだ」は、〈本を買うつもりでここまで来た〉事実を強調し、山田を説得しようという順子の意図を表している。

⑥② ああ、ありました。

この「た」は、いわゆる発見や確認の「た」。「あっ、電車が来た。」などと同じ。(第12巻参照)

■ 生活・文化

ここにある本の多くは、和書で、やはり平積みにして、そこにたくさんの短冊がさがっている。古書店に多くみられる和綴じの本は平積みにして置くのがふつうであり、平積みの和書は、書名がわかりにくいので、書名、値段などを短冊に記してさげておく。

III 3	山田	⑥4	お金を払ってきますから、ちょっと待っていてください。
	二人	⑥5	はい。
	店員の声	⑥6	六百円のおつりです。
		⑥7	ありがとうございました。
		⑥8	お待ちとおさま。
		⑥9	さあ、本は買ったから、桜を見に行きましょう。
		⑦0	ええ。

■ 語彙・表現

おつり：(釣銭) → お金

さあ：次の行動を起こそうとするときに、相手や自分に、心の準備をするようにうながす表現。

映像 ⇒ ちょうちん

■ 文法

⑥4お金を払ってきますから、ちょっと待っていてください。

「～から、～てください」は、③5③7と同様、理由をそえて依頼する表現。「～てくる」は、③5③6③7と同様、<1.目的の場所へ行く。2.目的の用をはたす。3.もどる>の一連の動作を表す。「払ってくる」は勘定場へ行き支払いをすませてもどるの意。(第14巻参照)

⑥6六百円のおつりです。

「の」は、あとに来る言葉の内容や状態、性質などについて限定を加える、いわゆる限定法の「の」。「山田の本」「日本画の画集」「おつりの六百円」も同様。

⑥9さあ、本は買ったから、桜を見に行きましょう。

「～から、～ましょう」は③⑬⑳と同様、理由をそえて勧誘する表現。「本は」の「は」は、「本を買う」「桜を見る」の両者を対比させ前者を取り立てる意味で用いている。

■ 生活・文化

山田が代金を払いに行っている間に正子と順子が開いて見ている本は、江戸時代の小説本「浮世絵冊子」。当時の和書は、印刷は木版刷り、装丁は和綴じであった。

IV 1	順子 ⑦①	わあ、きれい。
	山田 ⑦②	すっかり春らしくなりましたね。
	正子 ⑦③	ええ。
		⑦④ あんなに桜が散って……。
	順子 ⑦⑤	まるで雪が降っているようですね。
	正子 ⑦⑥	ほんとうに…。

■ 語彙・表現

わあ：おどろきを表す。男女ともに使う。

すっかり～なる：状態の変化が全体に行き渡っているの意。

散る：まとまっていたものが、バラバラになり、それぞれ違う方向に離れること。

■ 文法

⑦①わあ、きれい。

「きれい」は、「きれいだ／です」の「だ／です」が落ちた形。②⑩も同様に、女性に多い表現といえる。類似の省略形では、④「あら、ほんとう」は、「ほんとうですか」の「ですか」が省略された形であろう。⑧④⑩も同様。感動表現では「中止用法」「省略法」がよく用いられる。

⑦②すっかり春らしくなりましたね。

「～らしい」は、名詞についてく～と言われるだけの諸条件を十分に備えているの意を表す接尾語。推量の「らしい」との違いに注意。（推量については、第20巻参照）

⑦④あんなに桜が散って……。

目前の状態に感動しての表現。中止用法「て」は、感動の気持ちを口に出さずに余韻を残すような表現。

⑦⑤まるで雪が降っているようですね。

「～ようだ」は、状態をあるものにたとえるときの表現。ここでは「桜が散るのが、雪の降る様子に似ている」の意。「まるで」はくあらゆる点からみて、そう言って差し支えがないの意で、たとえの程度を強める。

■ 生活・文化

画面の景色は、千鳥が淵公園で、皇居のほぼ北西側に位置する。都心の桜の名所のひとつである。日本における桜の種類は30種ぐらい。都会に多いのは「ソメイ吉野」で、千鳥が淵公園にもこれが250本ほどある。

IV 1 2	山 田 ⑦⑦	座りませんか。	
	二 人 ⑦⑧	ええ。	
	順 子 ⑦⑨	ずいぶん歩いたので、疲れました。	
	正 子 ⑧⑩	ええ、わたしも。	
		⑧①	歩きすぎて、足が棒のようです。
	山 田 ⑧②	いやあ、どうもすみません。	
		⑧③	今日は、いろいろありがとう。

■ 語彙・表現

座る：床に……。椅子に……。↔ 立つ

いやあ：恐縮したとき、恥ずかしいとき、うれしいとき、などに口をついてでる表現。

いろいろ：対象となる事柄がいくつかあるとき、それをまとめていう。

■ 文法

⑦⑥座りませんか。

「～ませんか」は、①⑦②⑧⑤同様に、相手の意向を尊重しつつ行う勧誘。

⑦⑨ずいぶん歩いたので、疲れました。

「～ので、～ました」は、①②②と同様に、事実の描写、あるいはそれを通しての事情説明。

⑧①歩きすぎて、足が棒のようです。

「～て、～です」は、前件が、後件に述べた状態の動かしがたい理由である場合の表現。学習項目参照。「足が棒のようになる」は、慣用句として学習するとよい。「～ようです」は、足の状態が固く、自由に動かなくなつて「棒」と似ていることを表現している。

■ 留意点

⑦⑨「ずいぶん歩いたので、疲れました。」の順子の発言、正子の⑧①「歩きすぎて、足が棒のようです。」は、ともに、かなり率直な表現で、場合によっては、山田を責めることにもなる。事実、山田は⑧②でわびを言っている。このような率直な表現が許されるのは、三人が学生同志で、いわばぎっくばらんな間柄にあるためだろう。

■ 生活・文化

この画面では、ぼんぼりが三つほどみえる。花見をするのは、日本人にとって、この季節の大きな楽しみである。花の時期が短いので、桜が開くと人々がいつせいにくり出し花見客で混雑する。また夜には、ぼんぼりを灯して「夜桜」を楽しむこともする。

第 20 卷

さくらが きれいだそうです

— 伝聞・様態の表現 —

目的・構成

1 目的

伝聞・様態を表す「～そうだ」、推定を表す「～ようだ」、「～らしい」の基本的な意味・用法の理解をはかる。また、同時に疑問の終助詞「かしら」、副詞「たしかに」、「どうやら」、「とにかく」「やっ」となどの意味・用法の理解もはかる。

2 構成

おばあさんと孫娘が新宿駅で人と待ち合わせをしたが、やって来ないので、先に新宿御苑へ花見に行く。そのとき、いろいろと親切にしてくれた女性のバスケットを取り違えてしまう。それに気づいた女性が二人を追って御苑へやってくる。

	文	場面	ストーリー	学習項目	カウント
I	1	① 新宿駅西 ⑥ 口	おばあさんと孫娘が人を待っているが、時刻がわからない。	「かしら」「～ようよ」 「そうらしいね」	
	2	⑦ 同上	そばの女性に時刻を聞く。	「のようですが—」	
	3	⑭ 同上 ⑲	女性、待ち人の電話番号を番号案内に聞くことを申し出る。	「～らしいんですよ」	
	4	⑳ 駅の電話 ⑳ コーナー	番号案内への問い合わせ。	「～だそうです」(伝聞) 「～ないそうです」	
	5	㉓ 同上 ㉕	番号はわからない。新宿御苑の話をする。	「～だそうですね」(伝聞) 「そうらしいです」	
	6	㉖ 同上	別れ。女性、二人を追う。		
II	1	㉗ 新宿御苑 ⑥⑩ 正門	女性、係員におばあさんたちの行くえを問う。	「～ようですよ」	
	2	⑥⑪ 御苑内	だんごを食べる二人。	「～そう」(様態)	
	3	⑥⑧ 同上 ⑥⑩	孫娘、お茶をこぼす。おばあさん、バスケットをあけ、まちがいに気づく。御苑を出ようとする二人。	「～そうだから」(様態) 「～のかしら」 「～らしい」	
	4	⑥⑪ 御苑内	女性、おばあさんたちに追いつく。		

学習項目

1 主要学習項目

① 「～そうだ(伝聞)」

ほかから得た情報を自分の意見をまじえずに伝える表現。接続の形は最後にほかの学習項目とともに示すが、「そうだ」自体には、過去、否定、疑問、推量などを表す形はなく、常に「～そうだ」として用いられる。情報の出どころは「～によると」で表す。

伝聞の「そうだ」は「～なあ」など、話し手の気持ちを強く出す表現や、推量表現「～(よ)う」「～らしい／～ようだ／まい」には接続しない。

そのほかの伝聞表現には「～ということだ」「～とのことだ」「～と言った」「～という話だ」「～って」などがあるが、これらには推量表現が接続できる。「そうだ」には、ほかから得た情報内容を正しいものと信じ、そうであるにちがいないとする話し手自身の判断が含まれているので、推量表現とは接続しにくいのであろう。この映画中に出てくる伝聞表現は次のとおりである。

- ②⑦ 住所は世田谷だそうです。
- ③② わからないそうです。
- ④② ああ、今、さくらがきれいだそうですね。

② 「～そうだ(様態、推量)」

動作・出来事を表す動詞(連用形)に後接する「そうだ」は話し手が、目の前にある現象や状態を、動作、出来事の先ぶれとしてとらえ、相手に伝える表現である。根拠にもとづいて、すぐそうなるという予想をくさすのである。したがって、「そうだ」の前にくるのは未来の出来事のみで、過去形はない。切迫感を伴っている。映画には「動詞+そうだ」は出ていない。

今にも雨が降りそうだ。

机の上から箱が落ちそうだ。

根拠となるべきものが目に見えない場合は、予感となる。この場合のみ、自分の意志でコントロールできないことや、自分自身についても言える。

こんなに遅く家へ帰ると、母にしかられそうだ。

約束の時間と場所を忘れそうだから、手帳にかいておこう。

状態性の動詞や、形容詞、形容動詞につく「そうだ」はそれらの語で表される判断が、実際にそうであるかどうかわからないが(確かめてないので)、外見的に、そうだと考えてよさそうな徴候があるということを表す。

この家にはお金がたくさんありそうだ。

この道具は便利そうだ。

映画中に次の二つの例が出てくる。

⑥4 わあ、おいしそう。

⑥8 熱そうだから、気をつけて――。

外見的に見て、判断をくださるのであるから、見ただけで、その特徴や性質がわかってしまう場合はふつう言えない。ただし、下の例は、予感とか予測としては成立する。

彼女はきれいそうだ。

この山は美しそうだ。

今朝の空は青そうだ。

また、「そうだ」は名詞にはつかないので、あるものを見て、「～である」ような外観がある、ということを表現する場合、かわりに「ようだ」「らしい」を使う。

あの二人は、どうやら兄弟のようだ。

あんなにお金を使うところを見ると、彼は金持ちらしい。

「そうだ」は、形容動詞型の活用をするが、初級レベルの学生の場合には、「～そうな+名詞」「～そうに+動詞」「～そうだ」の形を指導する程度でよいと思う。なお、否定の表現については、取り上げ方が異なる場合があると思われるが、「形容詞「～く」の形+なさそうだ」、「形容動詞（語幹）/名詞+ではなさそうだ」、「動詞（連用形）+そうもない」を初級レベルで導入するのが一般的である。

③ 「～らしい(推定)」

「伝聞」の「そうだ」がほかからの情報を自分の意見をまじえずに伝達するのに対し、「らしい」は客観的情報をもとにして、推量し判断する表現である。

このワインはおいしいらしい。(本に1750年ものほうまいと書いてあった。)

あの店は高いらしい。(山田がビール1本5千円とられたと言っていた。)

この映画には次の表現が出てくる。

④ そうらしいね。

⑮ 落としたらしいんです。

④3 そうらしいですね。

⑦6 どうやら、あの人のかごとまちがえたらしい……。

一般に自分自身のことがらを述べるときには使わないが、非意志動詞の場合は、外界の客観的状况を判断の根拠として、自分自身のできごとを推定し、「らしい」を使って表現することができる。⑦6はこの場合である。

どうやら、バスに乗りおくれたらしい。(バス停にだれもいない。)

風邪をひいたらしい。(熱があるし、くしゃみが何度も出る。)

なお、「典型的に～だ」の意を表す「らしい」が第19巻で導入されている。

④ 「～ようだ(推定・不確かな断定)」

「～らしい」がほかから得た情報をもとに推定しているのに対し、「～ようだ」は、自分自身がすでにもっている知識、情報、常識、また、自分の実際の経験、観察にもとづいて、推定している。

駅員「お客さん、電車を待っているようですが、このホームには来ませんよ」

このタバコは、セブン・スターより強いようだ。のどが痛くなってきた。

自分自身の判断をもとに推定するので、推定したものごとくに対し、かなり自分自身の考え、思いが入っていることを示す表現である。会話では「～みたいだ」も使われる。様態「～そうだ」推定「～らしい」「～ようだ」の意味上の違いについては教師が十分に認識しておかないと、学生に不必要な混乱をおこさせると思う。「～ようだ」は次の表現が映画に出てくる。

③ おばあちゃん、あの人もだれかを待っているようよ。

⑨ だれかをお待ちのようですが……。

⑤⑨ あちらのほうへ行ったようです。

この用法とは別に、いわゆる「比況(比喩)」の「名詞+のようだ」が19巻に出ている。

接続の形

	伝聞(～そうだ)	様態(～そうだ)	推定(～らしい)	推定(～ようだ)	～かしら
動詞	ふる— ふらない— ふった— ふるなかった—	ふり— ふりそうもない	ふる— ふらない— ふった— ふるなかった—	ふる— ふらない— ふった— ふるなかった—	ふる— ふらない— ふった— ふるなかった—
形容詞	さむい— さむくない— さむかった— さむくなかった—	さむ— さむくなさ—	さむい— さむくない— さむかった— さむくなかった—	さむい— さむくない— さむかった— さむくなかった—	さむい— さむくない— さむかった— さむくなかった—
形容動詞	元気だ— 元気ではない— 元気だった— 元気ではなかった—	元気— 元気ではなさ—	元気— 元気ではない— 元気だった— 元気ではなかった—	元気な— 元気ではない— 元気だった— 元気ではなかった—	元気— 元気ではない— 元気だった— 元気ではなかった—
名詞	病気だ— 病気ではない— 病気だった— 病気ではなかった—	病気ではなさ—	病気— 病気ではない— 病気だった— 病気ではなかった—	病気の— 病気ではない— 病気だった— 病気ではなかった—	病気— 病気ではない— 病気だった— 病気ではなかった—

2 その他の学習項目

① 「～かしら」

女性言葉。質問、依頼、願望を婉曲に表すが、聞き手に具体的な返答を求めているのではなく、自問自答、または聞き手に自分のもっている疑問、依頼、願望を知ってもらおうとする調子が基底にある。体言、用言、助動詞（推量、様態を除く）に接続する。「(体言・用言)+のかしら」の言い方もある。今までの映画では、第13巻⑳、第16巻㉓に「かしら」がある。女性言葉については、第21巻のその他の学習項目を参照のこと。

② 「どうやら」

「どうやら～らしい」「どうやら～ようだ」など、推量表現につく。「はっきりわからないが、そういうことになる」という意味で、推量判断を表す文を認める目やすになることを教えておくといいだろう。

㉔ どうやら、あの人のかごとまちがえたらしい。

○ どうやら、切符をなくしてしまったようだ。

もうひとつの用法は、「まだ完全とは言えないが」「たいへんあぶなかったが、やっと」などの意味を表す。この映画にはこの用法は出ない。

どうやら、電車にまにあった。

1か月、20万円あれば、親子三人、どうやら暮らせる。

③ 「～はずだ」

客観的な根拠にもとづいて、ある事柄が当然実現するだろうという推量判断の表現。きわめて強い予測または期待を表す。映画には次の表現がある。

㉕ 11時には来るはずなんですが。

「はずだ」は、名詞、動詞、形容詞、形容動詞、助動詞（推量、様態以外）に接続する。「はず」の前に来る語の種類やその時制によって、また、それ自体の時制によって、意味やニュアンスに差があって非常に指導が難しい表現である。否定についても、「～ないはずだ」「～はずはない」「～はずではない」などの意味の異なる言い方がある。「はずだ」を中心学習項目にする場合、特に初級段階では教授者が、どの範囲まで指導するか明確にするとともに、十分な準備を要するであろう。

使用にあたって

1 効果的な使い方

この映画はストーリーがおもしろいので、楽しみながら見ることができる。それには、場面ごとに切って見せるより、一度に全部を見せたほうがよいであろう。

この映画の利用法としては、まず、復習としての使い方がよいと思う。その理由は、「～ようだ」「～らしい」が言いかえられる場面がいくつかあり、導入としての使い方は、難しいと思われるからである。映像から、「～ようだ」「～らしい」の用法の違いをつかみとらせるのは無理であろう。

ただし、番号案内に尋ねる場面、⑬～⑳を「伝聞」の導入に、茶店で休憩する場面、㉑～㉓を「様態」の「～そうだ」の導入に使うことはできると思う。どのような場面でこの表現が使用されるか、典型的に示しているからである。

練習としての使い方にも、主要学習項目の使われるせりふがあまりにも少なすぎるうえ、接続する語形を網羅していないので、不適當である。

復習としての使い方では、映画を見せる前に、導入・練習をすませておく。ふつうの初級用教科書の場合、この映画に出てくる学習項目は、2課あるいは3課にわたっていると思われるので、すべての文法事項の説明、解説し、さらに練習を十分に済ませてから、映画を見せる。

一度に全部見せて、内容の理解度をチェックしてから、各場面ごとに、伝聞、様態の「～そうだ」、推定の「～ようだ」「～らしい」が、どこに、どのように使われているかを確認し、必要な練習を加えて、文法事項の定着をはかる。

2 練習帳について

- p.33 映画のストーリーのまとめ。内容を思い出して、話させながら、に適切な語を書かせる。最後に教室で復習するのもよい。
- p.34 主要文法事項のまとめ。それぞれの品詞の活用形を考えさせ、に書きこませる。
- p.35—39 この巻の主要学習事項の練習。
- p.40 聞き取り練習。テレビを見せ、場面ごとに区切って練習する際に、書きこませるとよい。

シナリオに沿って

I 1	孫娘	①	おばあちゃん、おばさんは、遅いわね。	新宿駅 ・西口
	おばあさん	②	今、何時かしら……。	
	孫娘	③	おばあちゃん、あの人も、だれかを待っているようよ。	
	おばあさん	④	そうらしいね。	
	孫娘	⑤	ちょっと、きいてみましょうよ。	
	おばあさん	⑥	そうだね。	

■ 語彙・表現

おばあちゃん：「おばあさん」より親しい呼び方。親戚を呼ぶ場合と年齢相応の他人を呼ぶ場合がある。次の「おばさん」は後者。

きく：1. 「音楽を聞く」2. 「人に、時間（道、名前、場所、など）を質問する」
だれか：「だれが／を／に」などは必ず疑問文になるが、「だれか」は肯定文にもなる。

映像 ⇒ おばあさん 孫 駅 出口 入口 改札口 待ち合わせる

■ 文法

②今、何時かしら……。

具体的な質問ではなく、自問の感じが強い（女性語）。それは、③の孫娘の発話からもわかる。「何時ですか」の答えは「9時です」、あるいは「わかりません」のようになるが、ここでは孫娘が解決策を提案している。

③おばあちゃん、あの人もだれかを待っているようよ。

自分自身の観察に基づく不確かな判断。女の人は時計を見たり、左右を見たりしているのだろう。

④そうらしいね。

「そう」は③のせりふを受けている。ほかからの情報を根拠に推量して判断する表現。

■ 留意点

③④のセリフは普通体であるが、初級学習者には、丁寧さのレベルや、女性語、男性語の違いが、文法学習の妨げとなる場合があるので注意すること。③④では、「らしい」「ようだ」を交換することもできるから、類似性の確認にとどめる。学習者には、なぜ少女が「ようだ」を使ったのか考えさせるといいたいだろう。

■ 生活・文化

新宿駅・西口：日本一のターミナル駅。1日の利用者約200万人。日本人は人との待ち合わせ場所によく駅の出入口や改札口を利用する。

I 1 2	おばあさん	⑦	もしもし、すみませんが、今、何時でしょうか。
	女の人	⑧	11時半ですよ。
		⑨	だれかをお待ちのようですが……。
	おばあさん	⑩	ええ、知り合いを待っているんです。
		⑪	11時に来るはずなんですけど……。
	女の人	⑫	もう、30分も過ぎていますね。
		⑬	電話をしてみたほうがいいですよ。

■ 語彙・表現

～でしょうか：「～ですか」は相手が答えられることを前提としているのに対し、答えられたら答えてほしいという気持ちで質問する場合。

知り合い：「友達、先生、～さん」などと、あえて言う必要がない場合、親類以外はすべて「知り合い」と言ってもよい。

映像 ⇒ 若い女の人・おねえさん 腕時計

■ 文法

⑦もしもし、すみませんが、今、何時でしょうか。

「～で

⑨だれかをお待ちのようですが……。

③と同様に、自分自身の観察にもとづく推量判断であるが、「が」を用いることで、観察したことが問いかけの動機になっていることを示し、かつその理由を問い、援助を申し出る間接的でやわらかい表現になっている。「お待ち」は敬語表現。第29、30巻参照。

⑪11時に来るはずなんですけど……。

話し手のきわめて強い予測もしくは希望の表現。「～はずだ」は当然実現するだろうという推量判断。「はずだ」と現在形になっていることに注意。「11時にくるはずだった」と言わないのは、必ず来るという強い期待が今も持続していて完了していないのだ。

⑬電話をしてみたほうがいいですよ。

「～てみる」は「試しに～する」の意。「したほうがいい」は助言し勧める表現。（「～てみる」→第19巻参照。「～たほうがいい」→第21巻参照。）

■ 生活・文化

もしもし：電話の呼びかけ以外に、見知らぬ人に呼びかける場合の言い方。注意したり、教えたりするとき用いる。何かを頼むときなどには「あのう…、すみませんが～」がふつう。

I 3	おばあさん	⑭	電話番号を書いた紙をたしかにここに入れたんですがね。
		⑮	落としたらしいんですよ。
	女の人	⑯	電話帳を見ましようか。
		⑰	さっき見たんですが、わかりませんでした。
		⑱	じゃあ、番号案内にききましたか。
	おばあさん	⑲	ええ……。
	女の人	⑳	わたしが、ききましようか。
	おばあさん	㉑	おねがいます。

■ 語彙・表現

たしかに：「たしか」が、「たしか先週彼に会ったと思う」「たしか来週は休みでしたね」と、話し手の「記憶が正しければ」そうであるという意味を含めるのに対し、「たしかに」は「たしかに受け取った」「たしかにそうだ」と自信をもって、過去・現在の事柄を断言する。未来の場合は、「たしかに」は使わず、「必ず」や「きっと」を用いる。「きっと行く」

見る：「調べる」の意。「地図を見る」「読み方がわからないので、辞書を見る」

映像 → 手さげ袋 探す 見つからない

■ 文法

⑮落としたらしいんですよ。

「落とす」は他動詞だが、ここでは無意識的に使われている。自分自身のことであるが、意識的にしたことではなく、手さげ袋の中にないという客観的事実が、「たしかに入れた」と関連して、「落とした」と推定せざるを得ないのである。「ようだ」と置きかえることができるが、「らしい」のほうが事態と話者の心理的距離が遠くなる。

⑯電話帳を見ましようか。 ⑳わたしがききましようか

ここでは「ましよう」は「わたしが～する」という意志の表現。親切な申し出に「か」をつけて一応相手の意向を尋ねる形である。勧誘の表現は⑤にある。

■ 留意点

⑯⑳の自分の意志「わたしが～ましよう」に「か」をつけた申し出の表現は、この映画30巻中特に取り上げている巻がないので、ここで練習定着をはかってもいいだろう。「～(の)ようですね。わたしが～ましようか。」「ありがとう。おねがいます。」など、場面で会話練習をさせる。

■ 生活・文化

番号案内：同姓同名でなければ姓名だけで電話番号がわかるが、大都会では住所がわからなければ無理である。

I 4	女の人	②②	名前と住所を教えてください。
	おばあさん	②③	名前は、佐藤はな。
		②④	住所は、世田谷の方です。
	女の人	②⑤	すみません。
		②⑥	名前は、佐藤はな。
		②⑦	住所は、世田谷だそうです。
		②⑧	はい。
		②⑨	そうですか。
		③⑩	その人の御主人か息子さんの名前は？
	おばあさん	③①	それが……、わからないんです……。
	女の人	③②	わからないそうです。
		③③	そうですか。
		③④	どうも……。

■ 語彙・表現

映画 ⇒ 公衆電話

■ 文法

②⑦住所は、世田谷だそうです。 ③②わからないそうです。

伝聞の「～そうだ」。おばあさんの実際に言った情報をそのまま聞き手（番号案内）に伝えている。

③①それが……、わからないんです……。

質問、要求などで相手が期待したことを「それ」で受け、「残念ながら」とか「申しわけないが」とかの含みを添えつつ、期待に反する事がらを述べるときの表現である。

■ 留意点

伝聞の「～そうだ」の練習にこの場面を使うことができる。ここでは女の人の発話しかわからないので、相手の発話（番号案内）を予想させ、三人の会話として場面練習する。電話による劇場、ホテル、医者、レストランの予約などの場面設定で練習するとよい。

■ 生活・文化

104：区域内（10円で3分間話せる所）の番号案内は104、区域外は市外局番+104。110は警察への急報、119は火事・救急車、100は通話料金を知りたいときの市外通話申し込み、113は電話の故障、117は時報、国際電話申込みは03-211-0051。

I 5	女の人	③5	だめですね。
	おばあさん	③6	どうもすみません。
	孫娘	③7	わたしたちだけで、先に行きましょうよ。
	おばあさん	③8	そうね……。
	孫娘	③9	きっと、あとから来るわよ。
	女の人	④0	お嬢さん、どこへ行くんですか。
	孫娘	④1	新宿御苑です。
	女の人	④2	ああ、今、桜がきれいだそうですね。
	おばあさん	④3	そうらしいですね。

■ 語彙・表現

だめ：1.物事がうまく運ばない。2.役に立たない。「彼は英語ができないから、だめだ」「この機械はだめだ」。3.禁止。「酒・たばこはだめ」

お嬢さん：名前がわからない少女をそう呼んだ。男子は「ぼく、坊や、おぼっちゃん」など。他家の息子、娘は、「お宅のおぼっちゃん、お嬢さん」。

映像 ⇒ 受話機を置く

■ 文法

④2 ああ、今、桜がきれいだそうですね。

伝聞の「～そうだ」。この女の方は、テレビや人から「桜がきれいだ」という情報を得ていて、それをもとに「～そうだ」と表している。「～らしい」と言っていないのは、自分の意見、考えを入れていないからである。

④3 そうらしいですね。

自分が実際に見ていないので「そうですね」と応じることはできない。しかし、推量判断することができるような根拠、「友だちがそういった」「新聞で見た」などの情報があり、自分もそう思うという意味を表している。

■ 留意点

合づちとして「そうだそうですね」「そうらしいですね」「そのようですね」などがあり、最近では「そうみたいね」も使われる。

■ 生活・文化

花見：春3月は梅、4月は桜。特に桜は国民的関心事。花見の習慣は古く、本来は、梅、桜に限らず、また春山に咲く花を見るだけでなくって持ち帰るものだった。

I 5	おばあさん ④④	どうも、いろいろありがとうございました。	通り	
	女の人 ④⑤	いいえ。		
		④⑥ どうぞ気をつけて……。		
	孫娘 ④⑦	さようなら。		
	女の人 ④⑧	さようなら。		
	おばあさん ④⑨	さようなら。		
	④⑩	ごめんください。		
I 6		⑤①	お願いします。	タクシー
		⑤②	さあ。	

■ 語彙・表現

いろいろ：名詞修飾は「いろいろな」になるが、副詞的用法は「いろいろ」。「いろいろすみません」「いろいろお世話になりました」など。一つ以上の事柄をまとめていう表現。

映像 ⇒ かご バasket 開ける タクシー 乗り場

■ 文法

④④ どうも、いろいろありがとうございました。

世話になった人に感謝する慣用表現。

④⑥ どうぞ気をつけて…。

出かける人、帰る人への別れのあいさつ。「気をつけてね」「どうぞ、お気をつけて」「どうぞお気をつけになってください」などがある。場面や相手によって使いわけることを確認する。「行っていらっしゃい」「おいでください」が省略された形。

⑤① お願いします。

タクシーの運転手に声をかけて、言っている。行く先を言うときは「〇〇までお願いします。」、あるいは「〇〇まで／へ行ってください。」

■ 留意点

- 「どうも、いろいろありがとうございました。」
- 「いいえ。どうぞ気をつけて。」
- 「ごめんください。」
- 「さようなら。」

別れの場面での典型的な基本会話であるから、暗記させ、丁寧さの程度をいろいろ変えながら練習させるといい。

■ 生活・文化

ごめんください：人の家を訪問するとき、また、目上の人との電話の別れ、かしまった場所での別れのときなどに使う。「さようなら」は目上には言わず、「矢礼します」を使う。

II 1	女の人 ⑤③	すみません。	新宿御苑 ・正門
		⑤④ 女の子を連れておばあさんが通りませんでしたか。	
	係員 ⑤⑤	さあ……。	
	女の人 ⑤⑥	こんなバスケットを持って……。	
	係員 ⑤⑦	ああ、その人は、10分くらい前に通りましたよ。	
	女の人 ⑤⑧	どちらへ行きましたか。	
	係員 ⑤⑨	あちらの方へ行ったようです。	
	女の人 ⑥⑩	どうもありがとう。	

■ 語彙・表現

こんな：「これと同じような」の意。「こんなおいしいパンを食べたことがない」。
→「そんな」「あんな」。軽蔑の意味に使われることも多い。「あんな人はきらいだ」

バスケット：手さげかご。⑦⑥で「かご」と言いかえられている。

映像 ⇒ 新宿御苑 正門 出入口 係員 聞く

■ 文法

⑤④女の子を連れておばあさんが通りませんでしたか。

動詞の連体修飾の用法は④⑩にも出たが、「連れてた」の「た」が過去を表しているのではない点に注意。「めがねをかけた人」「着物を着た婦人」と同じ用法である。
→「おばあさんが女の子を連れてる。」（第14巻参照）

⑤⑨あちらへ行ったようです。

自分の目で「あちらへ行った」ことを見ているのだが、「あちら」であることを断定できないため「ようです」と言っている。この場合、係員は⑤⑦ではっきり「その人」を思い出し、「10分ぐらい前に通った」と明言している以上、ここで「～らしい」は使えない。自分の観察を根拠にした不確かな断定が「～ようだ」であることを再度確認させる。

■ 生活・文化

新宿御苑：新宿駅から歩いて20分、丸の内線新宿御苑駅から2分。約58万平方メートルの都内ではめずらしく広い公園。元高遠藩主の下屋敷跡、戦前は天皇家の庭園だったこともある。

II 2	ウェイトレス	⑥1	おまちどおさまでした。	休憩所
		⑥2	ありがとうございました。	
	おばあさん	⑥3	ああ、どうも……。	
	孫娘	⑥4	わあ、おいしそう。	
		⑥5	うん、おいしい。	
	おばあさん	⑥6	そう？	
		⑥7	おいしい。	

■ 語彙・表現

お待ちどおさまでした：レストラン、喫茶店で注文の品を持ってくるときや、人をまたせて用を足しもどったときに言う言葉。→「おまたせしました」

映像 ⇒ 休憩所 ウェイトレス くし団子 お茶

■ 文法

⑥4 わあ、おいしそう。

見ただけでは本当においしいかどうかわからないが、そのような感じを対象から受けたので「おいしそう」と言っている。「～そうだ」(様態)に前接する形容詞は、当然、対象自体が発話者にある印象を与えるものでなければならない。⑥7で、「おいしい」ことが確認され、「～そうだ」(様態)が消えることになる。

「おいしいようですね」が使えない理由としては、「～そうだ」が外見から受けた直感・印象をストレートに表すのに対し、「～ようだ」はより論理的、内省的な思考の結果としての表現である、という違いをはっきりさせておけばいいだろう。

■ 留意点

この場面をもとにした「～そうだ」(様態)の用法の説明は非常に効果的である。

見た目の印象のみでの「～そうだ」の発言から、それが確認され、「～そうだ」を使わずに言う場面を設定し、会話練習をすると効果的である。たとえば、「外は寒そうだ」→(本当に外へ出て)「やっぱり寒い」。(レストランの外で、建物から判断して)「このレストランは高そうだ」→(実際にレストランに入り、メニューを見て)「やっぱり、高い」など。

■ 生活・文化

花より団子：花見に団子はつきもの。本格的な花見になると、敷物を敷き、酒、料理、歌に踊りが入り、日本式パーティーとなる。古い年中行事が少なくなった今も花見は盛んである。

II 3	おばあさん	⑥8	熱そうだから、気をつけて……。
	孫 娘	⑥9	あつ。
	おばあさん	⑦0	まあ、まあ。
		⑦1	あつ。
	孫 娘	⑦2	ねこ……。
		⑦3	どうしたのかしら。

■ 語彙・表現

気をつけて：注意する。気を配る。前述の別れのあいさつ(P.96④6)と異なる点は、「～から」と理由があること。「道が暗いから／車があぶないから／階段が急だから、気をつけてください。」

まあ、まあ：女性の驚きの表現だが若い女性なら、「あら、あら」。

映像 ⇒ よそ見 茶碗 ひっくり返す こぼす

■ 文法

⑥8熱そうだから、気をつけて……。

「～そうだ」は、様態の表現。茶碗を見て湯気などから直観的に茶が熱いにちがいないと判断した。

⑦3どうしたのかしら。

「どうした」は話し手が理解できないような事柄や事態に接したとき、その「疑問(不可解)」を表す。「どうしたのですか」が答えを要求する質問文であるのに対し、「～かしら」は、答えを相手に要求せず、自分の疑問を相手に知ってもらう表現である。次の発話が孫娘自身のもので、自分の問いに、自分で答えているところからもわかる。男性の場合は「どうしたのだろう」となる。

■ 留意点

この場面は、この映画のクライマックスになるところである。文法の説明に力を入れるあまり、この場面の新鮮さを失うことのないよう気をつけたい。また、「～かしら」の使い方が、ある思いがけない出来事に対し、その原因を自問自答するときに使われることを確認し、会話練習を設定することができる。

〔例〕 A 教室にだれもいませんよ。

B さっきは、みんないましたよ。どうしたのかしら。

(Aはいろいろ不可解な状態を言う。「先生は休みです」「終わりのベルが鳴らない」など)

■ 生活・文化

お茶：和菓子には日本茶、ケーキなど洋菓子には紅茶かコーヒーが一般的。

II 3	孫 娘	⑦④	さっきの電話の所で……。
	おばあさん	⑦⑤	ああ、あの人も同じようなかごを持っていたね。
		⑦⑥	どうやら、あの人のかごと間違えたらしい……。
	孫 娘	⑦⑦	きっとそうよ。
		⑦⑧	どうでしょう。
	おばあさん	⑦⑨	とにかく、ここを出しましょう。
		⑧①	さっ。

■ 語彙・表現

とにかく：これからのきちんとした予定はないが、今すぐするべきこと、まずで
 できることをするときと言う。「どうなるかわからないが、とにかく話してみよ
 う。」「来るかどうかかわからないが、とにかく待とう。」「とにかく行ってみよう。」

映像 ⇒ 取り違える 考える 気がつく

■ 文法

⑦⑤ああ、あの人も同じようなかごを持っていたね。

「同じかご」というだけの確かさがいないため「同じようなかご」と言っている。
 「名詞+のような+名詞」が一般的な形。「冬のような天気」など。「天気」が
 「冬」に似ているという意である。

⑦⑥どうやら、あの人のかごと間違えたらしい……。

この「～らしい」も⑦⑤の用法と同じで、自分自身のことではあるが、意識的
 にしたことではなく、状況から推定して、結果的に「間違えた」と判断せざ
 るを得ないのである。「～ようだ」というと、「間違えた」ことを自ら進んで
 認める立場をとる表現である。

■ 留意点

「どうやら、～らしい」の文型練習に適した場面である。この文を引き出すさまざ
 まな場面を設定しておき、最後に「どうやら～らしい」としおしおでも推定
 させるようにする。(1.家へ帰る電車で傘を持って乗った。2.電車を降りたど
 きも持っていた。3.本屋に寄った。4.家へ帰ったとき傘がなかった。)→「ど
 うやら、本屋に傘を置き忘れたらしい」、など。

■ 生活・文化

かご：古くは竹、つるで編んだ入れ物。乗り物の籠もある。背負い籠、買物かご、
 洗たくかご、果物かごなど。今はプラスチックのものが多い。底の浅いもの
 はざる。バスケット。

II 4	女の人	㊸	おばあさん。	苑内の道
	孫 娘	㊹	あら。	
	女の人	㊺	やっと、みつかったわ。	
	おばあさん	㊻	どうもすみません。	
	女の人	㊼	いいえ。	
		㊽	でも、よかった……。	
		㊾	びっくりしたわ。	

■ 語彙・表現

やっと：いろいろ努力の末、できたときの表現。「やっと、泳げるようになった。」

「やっと、大学に入学できた。」「子供がやっと寝た。」など。

みつかる：自動詞「(~が)みつかる」、他動詞「(~が~を)みつける」。他動詞は動作に、自動詞は結果に重点がある。

びっくりする：驚く。話しことばで使われ、「驚く」より主観性が強い。

映像 ⇒ 苑内の道 バスケット 子猫

■ 文法

㊽でも、よかった……。

「でも」には、「タクシーで、新宿御苑まで追いかけて来たり、御苑内を走り廻って尋ねて歩いたり、ひどいめにあった。」という前提があり、「でも」、結局、会うことができ、「よかった……。」となる。

■ 留意点

㊽の「でも」は、よく使われる用法なので、この場面と同じようなパターンで練習するとよい。→ (あるレストランに入る。注文してから、長い時間待たされ、サービスも決してよいとは言えず、料金も高いくらいであった。)
「でも、おいしかった」。

■ 生活・文化

バスケット：西洋スタイルのかご。年寄り「かご」と呼ぶ。最近、外来語が氾濫しているが、年寄りは、従来の用語を使用することも多い。「百貨店」「電蓄」「写真機」、など。

『日本語教育映画 基礎編』 作成関係者

(指導・助言) 日本語教育映画等企画協議会委員 (所属は在任当時のもの)

池 尾 ス ミ (米加十一大学連合日本研究センター)

石 田 敏 子 (国際基督教大学)

今 田 滋 子 (国際基督教大学)

木 村 宗 男 (日本語教育学会)

工 藤 浩 (国立国語研究所)

窪 田 富 男 (東京外国語大学)

斎 藤 修 一 (慶應義塾大学国際センター)

佐久間 勝 彦 (東京外国語大学)

杉 戸 清 樹 (国立国語研究所)

(企画) 国立国語研究所日本語教育センター関係者 (在任当時関係者も含む)

野元菊雄 南 不二男 川瀬生郎 日向茂男 田中 望

清田 潤 中道真木男 林 大 武田 析 水谷 修

(制作) 日本シネセル株式会社

この『教師用マニュアル』の企画・校閲・編集は国立国語研究所日本語教育センター日本語教育指導普及部教材開発室の日向茂男、清田潤が担当した。全巻にわたっての企画・校閲には中野泰子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)、野村美知子(アジア学生文化協会留学生日本語コース)の両氏に多大な協力を得た。また印道緑、清地恵美子、戸川さやか各氏に企画時の補助をお願いした。

このユニット4の原案執筆・検討には二瓶千恵、伊豆山敦子、野村美知子、島村公子、播摩温子、ダバロス田中都紀代の各氏に助力を仰いだ。

日本語教育映画 基礎編 教師用マニュアル

ユニット4

1984年11月15日 発行

企画・編集

国立国語研究所

・発行

〒115 東京都北区西が丘3-9-14 電話(30)900-3111

印刷

日本シネセル株式会社

〒107 東京都港区赤坂1-9-15 電話(03)582-2691-4